

2007



日本初！「世界母乳育児週間」に一斉授乳を楽しもう！

日本全国のイベントの記録

～世界中のママとわかつあう、おっぱいの幸せ～



グローバル・ウェーブ

～授乳の波で世界をつなごう！～

今回の一斉授乳イベントは、世界同時授乳のギネス挑戦と同時に、「授乳の波で地球を繋ごう」という試みとしても呼びかけられました。

以下に今回の一斉授乳参加国と、各地で一斉授乳が行われているとき（現地時間10時）の日本時間を示します。

日本時間	参加国
8月8日	6：00 New Zealand
	8：00 Australia
	10：00 日本
	11：00 Hongkong
	11：00 Philippines
	11：00 Singapore
	11：00 Malaysia
	13：00 Bangladesh
	13：30 India
	16：00 Greece
	16：00 Uganda
	17：00 Ukraine
	17：00 Cyprus
	18：00 United Kingdom
	18：00 Cameroon
	18：00 Ireland
	22：00 Argentina
	23：00 Pennsylvania
	23：00 USA(New York)
	23：00 USA(New Jersey)
	23：00 Dominican Republic
	23：00 Canada
8月9日	0：00 Colombia
	0：00 USA(Mississippi)
	1：00 USA(Colorado)
	2：00 USA(California)

【資料提供：つくば】

札幌呼びかけ人のことば

越後 久美子

「母乳育児」、この言葉を見たり聞いたりすると、いろんな意味でいてもたってもいられない気持ちになるというお母さんは多いのではないかと思います。今回、一斉授乳イベントを全国各地で企画したり、参加してくださったりした皆さんには特にそうなのではないでしょうか。

今回のイベントは、札幌を発端にして、「母乳はスゴイ！母乳育児はスバラシイ！」と思っている母親同士が主にインターネット上で声を掛け合って、あっと言う間に津軽海峡を超えて、全国各地に広がっていきました。おっぱいに熱い想いを抱くお母さん達の行動力とパワーに圧倒され、私は鳥肌が立つ思いでした。

日本で初めてこの一斉授乳イベントが開催されるに至ったのは、ちょっとしたことがきっかけでした。二〇〇七年五月。ある日、私は、フィリピンで『母乳育児推進』を願って一斉授乳イベントが行われたという記事を目にしました。「えーっ！こんなのがあったの？楽しそう！行きたかったなあ。」単純にお祭り気分で、たまたま母乳育児中だからという理由で、事前に知っていたら、息子（当時一歳九ヶ月）を連れて本当に参加したかったと思いました。

そんな気持ちを mixi の管理コミュニティ「母乳育児 in Hokkaido」に書き込みをしました。すると、「札幌でもやるなら行きます！」「私も参加したいです！」という書き込みが多数寄せられたのです。いろいろなアイディアが出され、話はどんどん現実味を帯び、札幌市内に住む母乳育児中の母親七人が実際にスタッフとして集まりました。

どのような趣旨で、どのような形でイベントを開催しようか…と話し合いを続けていたところ、八月八日に世界中で一斉授乳イベントが行われるという話を、札幌在住の小児科医、瀬川雅史先生＝国際認定ラクテーションコンサルタント（通称「母乳博士」）よりいただきました。その後、前述のような経緯を経て、全国 25ヶ所、1000人以上の母乳育児中の母親が参加する大きなイベントへと発展していったのです。

世界各国での母乳育児事情は様々ですが、日本での今回の一斉授乳イベントの広がりを目の当たりにして、「母乳育児」は母親同士の連帯意識を高めると確信しました。母親同士の連帯意識が強まれば、社会の何かが良い方向に変わっていくのではないかと思います。今、お母さんの愛情をたっぷり受けて、すくすくと成長している世界中の子ども達に「母乳育児」が受け継がれていくことを願って、また、「母乳育児」をしたいと望むすべてのお母さんが適切な支援を得られる社会になることを願っています。

最後に、今回のイベント準備の最中、私事情で一時活動を離れた私を暖かく見守ってくれた札幌スタッフに感謝申し上げます。また、強力なバックアップにまわってくださった BSN (=「母乳育児支援ネットワーク」) の長谷川さん、いろいろな面で協力してくれた夫、そして、いろいろなことに気づかせてくれた息子に感謝します。

このイベントを通して得た素敵なかみ、素晴らしい発見は私にとって母乳育児の最高の思い出の一つとなりました。ありがとうございました。

2007年11月吉日

参加地区一覧&もくじ

1. 札幌・・・1~7P
2. いわき・・・8~11P
3. 那須・・・12~15P
4. つくば・・・16~18P
5. いばらき・・・19~22P
6. 千葉外房（寄稿見送り）
7. 我孫子（寄稿見送り）
8. 朝霞・・・23~25P
9. 川越（寄稿見送り）
10. 川越川鶴・・・26~28P
11. 池袋・・・29~32P
12. 杉並・・・33~35P
13. 世田谷（寄稿見送り）
14. 府中調布・・・36~39P
15. 東村山・・・40~43P
16. 横浜（寄稿見送り）
17. 青葉（寄稿見送り）
18. ナゴヤ・・・44~47P
19. 春日井・・・48~51P
20. 豊田市（寄稿見送り）
21. 京都・・・52~54P
22. 大阪市・・・55~58P
23. 尼崎・・・59~61P
24. 北九州・・・62~65P
25. 熊本・・・66~69P



札幌会場

札幌市白石区菊水 菊水ビルにて

【当日のプログラム】

9時	開場 受付開始
9時45分	主催者あいさつ
10時~10時1分	一斉授乳！！
	その後、各種同意書など記入
	授乳写真などの記念撮影
11時ごろ	国際認定ラクテーション コンサルタント 濑川雅史 先生によるミニ講演
12時ごろ	一時閉会
午後から	昼食をとりながらの グループトーク



ミニ講演の様子



【参加者の感想】

みんなで一緒に授乳した一分間・・・なんだかとても静かな感動にひたって、幸せな気分になりました～。

たった一分・・・だったのですが、とても長く感じて、今までの育児のことなど、いろいろなことを思いかえしていました。

この時間を多くのオッパイ仲間と共有できることは、自分にとってとてもよい経験になりました！

我が子は10時前からおっぱいを欲しがり、30分たっぷりと飲んでいました。

我が子が一番小さいのかな？（2ヶ月）と思っていたら、さまざまな年齢の子が集まっていて感激しました。

上の子の赤ちゃんがえりで卒乳からまた吸い出したので、本当に飲ませ続けていいのか悩んでいたので、今回ですっきりタンデムで頑張っていきたいと思います。

本当に感動的な時間を過ごすことができました。

今でもあの一斉に静まり返って、チューチューブした時間を思い出すと感動であったかい気持ちになります。

その後より一層おっぱいをごくごくする娘がいとおしく感じるようになりました☆

いただいた写真を見ながら、娘にあの感動をお話してあげる日が楽しみです。

このイベントに参加できて娘も私もとても良い経験ができ記念にもなりました。

授乳開始と同時にそれまでガヤガヤしていた会場内がしぜんと静まり返り「うわ～今みんなオッパイ飲んでるんだ！すごい！」と一人興奮し、なんとも素敵な時間を参加者の方々と共有できることを嬉しく思います。

グループトークでも先輩ママさん達のお話などが聞けて大変参考になりました。

先ほどオッパイ大好きな娘は添い乳のまま眠りにつきました。

やっぱり授乳中の子供の顔って幸せそうでカワイイなあとしみじみ思いました。

母乳が出なくて悩んでいる方も多い中、私はなんて幸せなんだ！！と改めて考えさせられる1日でした。

2日たった今でも、なんだかあの瞬間に立ち会えたことにうれしく思います。

これからも、おっぱいまっしぐら続けていきます。

一斉授乳イベント大成功！！

本当にわくわく楽しい、感動の授乳、こんな経験初めてで私もなんだかウルル・・・。

とにかく、たくさんの親子がみんなで当たり前に授乳できるあの空間はとってもすてきな場所でした。

1歳の娘は周りの子がオッパイしているのを見てとにかくニコニコ嬉しそうでした。

ほんとに素敵なおイベントをありがとうございます☆

あの瞬間は一生忘れません・・・とは言っても、私は道に迷い車内で授乳しましたが（笑）

こんなにアホなのは、きっと日本中で私一人！！

とってもいい思い出になりました。

来年こそは！！と今から意気込んでマス（笑）

娘は1分前くらいからスタンバイし、3・2・1～ゴコゴコゴク～っと飲み始めました。しかも『1分経ちましたあ』の声と同時に飲むのをやめてました。で、遊びだしました（笑）

とりあえず1分間は思いっきり、がぶ飲みしてくれたので良しとします（笑）

あの授乳タイム…気持ちよい音楽も流れていて、癒されつつ幸せな時間を味わうことができ、ステキな思い出ができました。

今まで母乳育児をしつつも、なんの知識もなかったので、今日の先生のお話を聞いてとても勉強になりました。

あっという間の1分間でしたが、すごく貴重な幸せな時間でした。

ガヤガヤしてたにも関わらず、10時の開始と共にシーン…と静かになり、周りを見渡すとベビちゃんたちがみんなオッパイを飲んでる……。

何だか不思議な光景だったし、娘の顔を見て幸せな気持ちになりました。

赤ちゃんて、大好きなママのオッパイがあると、どんな状況でも飲んでくれるんですね～

自分の日記で一斉授乳を呼びかけてみたりと、自分の中では相当盛り上がっていたにもかかわらず、反応薄だったのでちょっと寂しい気がしていました。ですが、いざ会場に来てみると、マイミクさん達約10人に囲まれている自分がいました。

まず、お友達みんなと参加できることに感動。

「寝ちゃったらどうしよう」なんて軽く心配しながらも、ぐずって仕方ないので約3分フライングしての授乳開始でした。

友達皆で集まても一斉に授乳なんてしたことなかったし、全国の同じようなママさんたちが「今、まさに」と思うと感動してしまい、あっという間の1分間で、トータル授乳8分くらいで息子は眠りに落ちました。

時間の都合でどしゃ降りの中帰らなくてはならず残念でしたが、来年もまだ授乳していたら（息子は1歳8ヶ月になっています）ぜひ参加したいです。

余談ですが、先日某新聞に「母乳育児が復活 過去最高の74%」という見出しが出ており、食いつくように読みました。

母乳育児が再評価される機運が高まっていますよね。

うまくいえないけど私は、授乳を通して母子ともに満たされるこの感動は、世界平和の根源になりえるのではないかと思っています。

授乳に参加できない旦那にも、授乳中のベビの顔をたくさん見せておかなければ、と思ったし、私もそれで得られる充実を自分の口で旦那に語っていこうと思いました。

10時からの1分間、それまで動物園並みにギャーギャーだった会場がしんと静まり、とってもステキな時が流れました☆ベビちゃんとママの愛情たっぷりの時間でした。

ベビちゃんたちの安心しきった満足そうなお顔と、その可愛いお顔を見守る優しいママさんたちと一緒に貴重な時間を過ごすことができて感動しちゃいました。

娘が生まれてから、おっぱいをあげる度に愛おしさが増していましたが、更に他のベビちゃんたちとも繋がりがもてたような気がしました。

この素晴らしい一大イベントに 授乳中という人生における特別な期間の記念に参加できた事を本当に感謝します。

会場に行けたお陰で・・授乳という赤ちゃんとママだけのいつもヒッソリとした行ないを多くの方と共有できた事・・とってもいい経験になりました。

今1歳を過ぎて、なお猛烈なオッパイ星人との闘いに 少々疲れ気味の毎日だったんですが、昨日のイベントでかなり励されました。

これを機に・・長い人生の中、残り少ない授乳ライフを楽しみたいと思います。

一斉授乳の瞬間は会場が一体となつた感じがして とても感動しました

家で子育てをしていると、孤独を感じることもあるけれど、同じく子育てに奮闘するママ達が実はこんなにもたくさんいるのだわ。と実感したら、なんだかパワーをもらった気がします。

グループトークで先輩ママさん達の経験談など、貴重なお話を聞かせていただいて、とってもよかったです。

保育園に通っても夜の授乳を続けられる、だとか、みなさんも子どもにおっぱいをかじられてるんだな、とか

8ヶ月の我が息子、1歳になる頃にはおっぱいやめなきやいけないのかな????と思っていましたが、みんなのお話を聞いて、好きなだけ飲ませてもいいかと思うように。

今回このイベントに参加させて頂いて、あの時間あの場所で一斉授乳ができた事にとても感動して、正直うるっと来てしまいました。子供が初めておっぱいを飲んでくれた事など思い出し、あとから聞くとお友達のみんなも同じような事を思っていたらしく、そんな時間を一緒に過ごせた事だけでもありがたく、とても幸せです☆

【スタッフ感想】

札幌会場に集まってくれました皆さん、そして、自宅や出先で参加して下さった皆さん、本当にありがとうございました&お疲れさまでした！

母乳で世界各地と繋がり合えるなんて、母乳のチカラって、すごいなあと感心。その母乳の源を私の身体に与えてくれたわが子にも、あらためて感謝です。

朝早くからのお手伝い、蒸し暑い中、度重なる写真撮影・たくさんの自筆記入・片付け等、皆さん、本当にありがとうございました！！

皆さんの協力あって、一緒に出来上がった札幌会場でした。

2007年8月4日

北海道新聞

夕刊掲載記事

広がれ 母乳育児の輪



一斉授乳は、母乳育児ら札幌市内の母親七人、を進めるマレーシアの団体などが企画。参加者は現地時間の午前十時に次々と授乳する。五月にマレーシイで、「母乳育児in Hokkaido」の管理人を務める。七人は、勤医協札幌病院小児科の瀬川雅史科長から企画を知り、七月からラミクリシティで情報発

世界のママ 一着授乳

う子供がのどを鳴らす。8日前午前10時、ビルの一室を借りた札幌会場に集まつた63組の母と子。授乳が一斉に始まる。と、室内は静まり返つた。フリーピンなど世界約20カ国 の親子が参加した「世界同時授乳」。越後久美子さん(32)は「札幌市東区」は「日本

掛けた。「授乳ってほしい」との思いからだつた。日本では初の試み。全国26カ所に約100組の親子が長男紀一ち

授乳

所に約100
組の親子が
長男紀一ち

やん(2)が生ま
どう、
集まつた。
諭した。

「言尻情報があふれ
つこの仕方も分か
らなかつた。産
婦人科医は「母
性は生まれつき
のものじゃな
い。はぐくまれ
るものです」と

て子供と触れ合はしない。愛情を持つ
触れ合いの中で最も大切なものが授乳なのだと気付いた。ぱちりと目を開け、一生懸
命におっぱいを吸う紀一ちゃん。乳離れの年齢は気にしない。自然に成長したい。そう
いふ。「自分も子供もゆづくい
つっている。

札幌でも63組
世界20ヵ国一斉授乳
世界母乳育児週間(一
七日)にちなんで八日
授乳するイベントが開
かれ、札幌でも母子六十
組が参加した。写真左
同イベントは、マレ
シアの団体などが、母

育児の大切さをPRしよ
うと提案。米国やフィリ
ピンなどで約千人が参加
した。日本では札幌の母
親がインターネットのウ
エブサイトを通じて参加
を呼び掛け、十三都道府
県、二千五カ所で開かれ
た。道内唯一となつた、札
幌市白石区の会場には、
市内などから

8日、20カ国で催し

札幌からも40組

札幌会場のまとめ役の
柴田奈緒美さん(左)は
「会場に来られない人や
自宅で同じ時間に授乳
してほしい」と話す。

信。東京や大阪などの西親から賛同を得た。
道内は札幌会場（白区）だけ。約四十組が申込んでおり、一分間授乳し、希望者はスタッフが授乳の模様を写真に記入する。授乳後は瀬川科長が講演する。参加費は百円、写真希望者の参加費は二百円。

2007年8月9日

北海道新聞

朝刊掲載記事→



区の会場には、市内などから乳幼児と母親が集まつた。午前十時に一斉に授乳を開始。必ずしていた赤ちゃんも、安心した様子でお母さんのおっぱいを吸つていた。札幌会場のまとめ役の柴田奈緒美さんは、「授乳できるのは、短い期間。いい思い出になつた」と話していた。

札幌スタッフ・プロフィール

(2007年7月現在)

名前 (mixi ハンドルネーム) 【主な担当】

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 居住区 | 5. 自覚している性格 |
| 2. 子どもの人数・性別・年齢 | 6. 趣味・特技 |
| 3. 母乳育児歴 | 7. 血液型・星座 |
| 4. 母乳育児のここがスゴイと思う！ | 8. このイベントに向けての意気込み |

柴田奈緒美【札幌全体取りまとめ】

1. 札幌市中央区
2. 娘が1人♪
3. 2歳6ヶ月（現役です）
4. 知れば知るほどの奥深さ。でも、人類がこれだけ、続いてきた歴史を見ると、哺乳類動物としては、本来、あるべき姿なのかなと思ったりします。子を授かること・授乳することに本能的な憧れがあり、今こうして夢が叶っていることに、今でも日々、授乳している娘の顔をのぞき込んでは、幸せに感じています。
5. かなりのプラス志向です
6. お散歩・読書・音楽観賞・映画観賞
7. 気にしないB型・おとめ座
8. 母乳育児への恩返しという気持ちで参加させていただきました。母乳育児に対して個々に情熱あるスタッフばかりで、日々、それぞれイベントに向けて準備をしています。管理人さん代行のイベントスタッフまとめ役として、参加して下さる皆さんとともに、作りあげる雰囲気の会になればと、思っています。当日、皆さんにお会いする日を、楽しみ♪にしています♪



戸田和子（かず）【受付・会計】

1. 北区
2. 娘が一人、現在8ヶ月です
3. 同じく8ヶ月です
4. うちは経済的な面での魅力が最大のきっかけでしたが、娘との大切なコミュニケーションとして、お互いの必要性を実感できる大切な時間を持つことが出来ています。母乳育児において、どんな人も生命のはじめはココからと思うと、必要な無い人なんていないし、意味の無い生命もないと実感します。そんな、生命の大切さを知ることが出来たことです。
5. 超楽観主義で、何事も何とかする！やると決めたことに対してはしつこいこともあります。
6. パソコン、ドライブ、カラオケ、バスケットボール、時々手芸
7. 感心のあることにはアツく、無いことにはクールな「B型」、目立ちたがりな傾向の「しし座」です。
8. より母乳育児をしやすい世の中にしていくための、第1歩になつたらとおもいます。自己満足ではなく、みんなで楽しみ、なおかつ励ましあえるようなイベントになるよう、頑張ります。



山本さとみ（さとねこ）【北海道カラカラコ・デ・ザ・イン】

2. 8ヶ月の息子が一人
3. 8ヶ月です
4. 言葉が分からなくてもおっぱいがあると通じあってる気がします。産後直ぐはガムを飛ばしながら飲んでいた息子も最近は笑いながら噛んで来ます。そんな面白成長を見られるのも魅力ですね。
5. 鉄砲玉的行動力はすごいみたいです。基本的真面目。頭の中はネタ探し。
6. 最近は出来てないけどダーツ、地域限定キティ集め、スタンプラリー辺りが趣味。
7. 適当なA型（笑）、熱血的牡牛座
8. とにかく参加者のみなさまが楽しめるようにいいイベントを目指しています。少ないスタッフで手作り企画で頑張ってますが、絶対損はしないイベントになると思います。参加して良かった、来年もまたと言われるように頑張ります。

土門素子（モツチ）【会計・オスマ図書一覧作成】

1. 札幌市西区
2. 息子一人、2歳10ヶ月
3. 2年10ヶ月まだまだ続きそう…
4. 私もいっぱいあると思いますが、母乳をあげることによって母性も出てきた気がします。私を母にしてくれた貴重なものだと思います。
5. おっちょこちょい、につきます（-_-;）
6. 旅行、観劇
7. 蟹座のA型
8. 一斉授乳を皆さんとできるなんて最高ですね、母乳育児してるという結び付きだけすごい仲間意識感じてしまう所も母乳育児のスゴイ点ではないでしょうか？！記念すべき第一回となる様にしたいです。



越後久美子（きーかーちゃん）【立案・呼びかけ・mixi コミュニティ「母乳育児 in Hokkaido」管理人】

1. 東区
2. 一人・男・1歳11ヶ月
3. 1年11ヶ月（現役です）
4. いっぱいありますが、「人と人を結びつけてくれる力」でしょうか。
5. 伝えたいことはいっぱいあるのに、うまく言えないことが多いです。書くことはスキです。行動派とよく言われますが、かなり慎重派です。小心なところもあります。
6. 読書・mixi・バレー・ヨガ
7. おおざっぱな「O型」・コツコツ型と言われる「やぎ座」
8. こんな素敵な企画が実現できて本当に嬉しく思っています。みなさんにお会いできるのを楽しみにしています！「母乳育児」ってほんとにスゴイ！

菅原香奈絵【全国コミュニティ管理人】

田中真弓【当日司会】



世界同時授乳



～世界中のママとわからあう、おっぱいの幸せ～

いわき会場（福島県いわき市・藤原公民館）



毎年8月1日～7日までの世界母乳育児週間にちなんで、WABA（世界母乳育児行動連盟）が世界中で一斉に授乳し、ギネス記録を残そうというイベントを企画。

世界各国、日本を含め26カ国で開催。日本では札幌からの呼びかけに賛同し、26箇所で1000組以上の参加がありました。



いわき会場では、2007年8月8日10時より、30組の母子が集まり世界同時授乳イベントを開催しました。ギネス申請のため、立会人として、助産師さん2名、新聞記者さん2名に来て頂き、30組全員が一斉授乳に参加し、ギネスに挑戦することができました。10時からの1分間は静寂に包まれ、母と子の愛に満ち溢れた素晴らしい時間になりました。

10時から一斉授乳を行い、その後はお母さん方の交流会・フリートーキングの時間とし、なごやかに楽しい時間を過ごしました。

そしてこのイベントはメディアへのアピールもひとつの課題となっていましたが、地元新聞社（福島民報社・福島民友社）にて、翌日朝刊で記事として取り上げて頂き、この世界同時授乳イベントをたくさんの方に知ってもらえたのではないかと思います。



■イベントへ参加した感想■

円谷 恵梨（主催者）

今回、一斉授乳イベントを知り、自分が母乳育児をしてきた証を残したく、主催者として立ち上がりましたが、会場探しや参加者募集告知などとても苦戦しました。

しかし、友人スタッフの協力のおかげで、ギネス申請のためのエントリーや参加者募集の呼びかけをしてもらい無事開催することができました。

イベントには1歳の息子（次男）と参加しました。現在3歳の長男は混合栄養で1歳前に卒乳。次男は完全母乳で育てたいと思い、母乳だけで育ててきました。今も母乳がないと寝ないし、夜中も何度も起きますが、ニコニコしながらおっぱいを飲んでいる息子の姿が愛おしくてたまりません。一斉授乳が始まる直前は機嫌が悪く、どうなることか心配でしたが、なんとか授乳することができました。本当ならこの素晴らしい1分間をもっと楽しみたかったのですが、あっという間に終わってしまいました。

しかし、このような貴重な時間をたくさんの方と共有できたことは、わたしの母乳育児ライフの忘れることのない思い出になりました。

このイベントに参加できたこと、とても嬉しく思います。

是非、このような心温まるイベントが来年も開催されるといいなあと思います。

そして、立会人として来てくださった方々、参加者の皆さん、わたしの呼びかけから集まってくれたこととても感謝しています。本当にありがとうございました。

高橋さん（スタッフ）

授乳はわたしにとって、今一番幸せを実感できる時間です。

あ～なんて愛おしいんだろう・・・この子も幸せそうな顔で飲んでるな～・・・そんなことを考えながら、飲んでいる間中ずっと子供の顔を眺めていると胸がいっぱいになります。

母乳を与えてお母さんはきっと皆さん同じ気持ちだと思います。

今回、そんな同じ気持ちのお母さん達と一斉授乳に参加できた事！授乳の素晴らしさを再確認した事！思いを情報として発信できた事！とてもよかったです。そしてなんらかの形でこの思いをこれからのお母さんになる人たちへつないで行けたら・・・と、思いました。

中野 真美さん（スタッフ）

上の子も母乳でしたが夜辛くてミルクを足しました。今回は母乳のみで頑張ります。1歳を過ぎ、そろそろ卒乳なので記念にと思いイベントに参加しました。満足そうにおっぱいを飲んでいる赤ちゃんたちを見て初めて母乳をあげた時のことを思いだし、こんなに大きくなったんだなと愛おしくなりました。なんだか卒乳を寂しく思います。上の子も1歳8ヶ月まで飲んでいたので、無理に卒乳せずこの幸せの時間を大切にしたいなと思います。

井上さん（スタッフ）

授乳イベントに参加できて光栄です。母乳オンリーだとママの負担も大きいけどそれ以上に子供との大切なコミュニケーションがとれるのですばらしいことだと思います。一生のうちのほんのわずかなことなのでこれからも母乳育児が広がっていくことを願います。

いけちゃんさん

ほんの一時期しかない授乳期間に、このようなイベントに参加できたこと、一生の記念です。息子が大きくなったら、教えてあげたいなあと思いました。

Nocco さん

お友達から誘って頂いて一斉授乳に参加しました。この田舎であんなにも沢山の参加者がいらしたことにはびっくりでした。

そして何より、自分の一生の中でそう長くない授乳期間中に、こうしたイベントがあって、同じような時期を迎える人たちと素晴らしい経験ができたことはとても嬉しい経験になりました。子供が大きくなったら、母乳の大切さと素晴らしい経験と共に話してあげたいと思います。

こうたんママさん

1分間ですが多くのママ達と一緒に授乳するという事に携わる事ができてよかったです。
母乳は、ママしかできない赤ちゃんとのコミュニケーションということを見直されれば幸いです。

志賀 京さん

今回このイベントに参加できて、母子共に一生思い出に残る良い経験になりました。
私の子供は 2160g の低体重児として産まれましたが、母乳で育てたかいあってか、今ではとてもすくすくと育っています。大きな病気もなく、母乳の大切さを改めて実感しました。母乳で育てることは心身共に苦痛になる事も多々ありますが、子供の元気な姿を見る度にそんな苦痛もどこかへ行ってしまいます。母親にしかできないこの授乳を第2子、第3子ができても続けていくつもりです。

陸斗ママさん

今回このイベントに参加できたことで、母乳をあげることでママも赤ちゃんも安心できると、今までよりもさらに赤ちゃんにとって母乳が必要だということを認識することができました！
これからももっと『母乳ってホントにすごい、いいなあ！』とたくさんの人に広まればいいなあと思っています。

えんどうまめさん

今回参加した一斉授乳イベント、本当に楽しかったです。友達や親に『我が子とギネスに挑戦したんだよ～』っと自慢しています。育児に追われる生活の中で、親子で楽しめる時間を作て下さった、主催者さんに感謝しています。ありがとうございます。

Rei&China さん

おっぱい期間のこのタイミングに素敵なイベントが行われ、それに参加できた事を嬉しく思います。
子育ての楽しい思い出が一つ増えました。

テルルさん

母乳育児の大切さ、意味というものを改めて考えさせられたとても貴重な体験でした。

一生の間に数回、数年しかない授乳というコミュニケーションを、こういった形で記録に残せた事は本当に嬉しく思います。

たくさんのママにたくさんのベビちゃんと少し面白おかしい光景でしたが同じ時間に一齊に…つてこういう企画でもないと経験できないですよね！

今回だけじゃなくこれからママさん達にも引き継がれていったらしいなと思います！

私は2人目もお乳が出る限り母乳で育てたいと思います。

康太郎ママさん

「早く卒乳しなくちゃ」と思っていますが、やっぱりおっぱいを飲んでいる時の満足そうな顔を見ると、なかなかやめられません。おっぱいをあげられるのも、今だけだし、しばらくはまだいいのかな～？と、皆さんのお母さんを見て、思った1日でした。

なおさん

ギネスに挑戦するなんて縁がないと思ってましたが、母乳育児をすることによってとてもいい経験ができました。もし、また子供ができたら、母乳で育てたいと思いました。そして、娘にもいつか子供が出来たら、母乳の素晴らしさを教えてあげたいと思います。

奈緒美さん

娘は生後すぐに母乳を口にすることことができ、それ以来ずっと母乳のみで育ってきました。授乳時は親も子も穏やかになり、愛情も深まっていく、そんなとても貴重で大切な時間だと思います。今回のイベントで同じ母乳育児をしている全国のお母さん方と参加できたことをとても嬉しく思い、また母乳のすばらしさや重要性を改めて実感することができました。これからも残された授乳期間を大切にしながら母乳育児を楽しんでいきたいと思います。

「世界中のママとわかつち合った時を、ギネスに残そう！」

そんな素晴らしい活動に参加することができました。

～現在、世界同時授乳ギネス記録、申請中～





同時授乳 in 那須

主催 たんぽぽママのおしゃべり会

開催地区・会場 那須 IN 栃木県那須塩原市 烏が森公園

世界同時授乳 IN 那須！ ギネスに挑戦！！「笑って輪らって、和になる育児」

I はじめに ・・・ 当日になるまで

Mixi の中で 8 月 8 日に同時授乳のイベントをやると話題になっていると、たんぽぽママのおしゃべり会の M さんから 7 月の終わりに聞きました。せっかくの機会なので是非那須でもイベントを行おうということになりました。しかし、Mixi は知らなかったため、急いで会員となり情報収集しました。8 月は会で大きなイベントがあり、メンバーはそちらの準備に追われていたため、急遽私と M さんで、事前準備を進めることになりました。

9 ヶ月の娘の育児をしながらのため、なかなか思うように仕事が進みませんでした。それでも、会に参加されている方にメールしたり、新聞社にかけあったり、市の育児関係担当の方にご協力をお願いしたりと短期間でもできることはやってみました。

時間が迫っていたこともあり、なかなか立会人や、協力ボランティアの方も集まりにくかったのですが、立会人は、イベントの内容に賛同していただいた市の母子保健推進員の方と近くの牧師さんが快く引き受けってくれました。また、会のママさんが声をかけてくれた看護学生の方が、ボランティアとして協力してくれることになりました。

25 組以上でひとつのギネス申請地になるということでしたが、予想以上に申込者がおり最終的には 50 組の参加になりました。会場は、広い芝生があり利便性もある公園ということで烏が森公園に決定しました。日本全国他はみな室内でしたが、あえて那須は野外でおっぱいをあげるということでどこでも母乳を与えることができるというアピールもしたかったのです。

Ⅱ 当日のプログラムの流れと注意事項（当日の配布プリントによる）

9:30 受付
9:45 受付終了
9:45 主催者挨拶・注意
9:55 授乳準備
10:00 一斉開始
10:01 合図により終了 そのまま、お子様がやめるまで授乳していて下さいね。
終了後名簿に、サイン。
写真撮影、解散

- ① 荷物検査にご協力ください。母乳に関する代替品のマーケティングに関する国際基準」を遵守するためです。規準の内容は別紙を参照してください。
- ② 番号のシールをお母さん、お子さんの見やすい位置に張ってください。立会人の方が確認するためです。
- ③ 所定の位置に、自分の場所を確保ください。どうしても、取材の方または写真に写されたくないという方は、そちらの場所を作りました。スタッフに声をかけてください。
- ④ 少しですが飲み物があります。ご自由にお飲みください。
- ⑤ 時間が決まっているイベントです。混乱を防ぐためスタッフの指示に従ってください。

おちついて授乳できるよう開催前は母子でのんびりとお過ごしください。

母乳について、育児について何かご質問等ございましたら遠慮なく係りのものに相談ください。たんぽぽママのおしゃべり会ママサポーターも何人かきております。気軽に話しかけてください。

以上のような注意事項の用紙を受付時に配りました。

なお、参加費を300円頂き後日写真を配布しました。

Ⅲ 当日の様子

9時半に受付を始めるため、たんぽぽママのおしゃべり会のママサポーターや手伝いの面々が、9時ちょっと前に集合しました。会場は、公園。下見の時には芝生の上では、暑くなりそうとのことで、木陰も検討しましたが、当日は曇りのため、青空の下の芝生の上に会場を決定しました。会場ではブルーシートを二箇所（写真撮影拒否の方用の席の作成）に敷きました。

参加メンバーが次々に登場。荷物検査や受付などには多少手間がかかりましたが、さほどの混乱もなく受付は終了。受付時に、名簿の番号と同じ番号のシールを二つ渡して、お母さんと子供について立会人から何番の人が授乳していないのかわかるようにしました。事前に荷物検査があることを周知していたため検査に対してのさほどの混乱もありませんでした。

9時45分までは、公園にてくつろぎ、その後芝生の上に集合し授乳準備をしました。9時55分ごろからは時報とともに、オルゴールの音楽を流しました。参加者（受付時）人数は母子50組でした。10時の時報とともに授乳開始。あたりが静けさに包まれました。10時1分を過ぎた後に、終了のアナウンスがあると自然に拍手が起こりました。

その後は、各自授乳の有無のチェックとサインを行い解散しました。

最終的に授乳者は47組でした。

☆あの一分間…。とても幸せな気持が持てました(^-^)/こんな幸せな気持を日本中、世界中の人達と共に感出来たことがうれしいですね！この同時授乳を見て、たくさんのママ達、プレママ達が母乳育児についてなにか感じてくれると、もっとうれしいな(>_<)と思います！ 来年も参加出来ることを願っています。
T・M(那須塩原)

☆大勢の方々と公園で授乳をして良い思い出になりました。子供が大きくなったらあの時のことを話してあげたいです。G・Y(大田原)

☆同時授乳のイベントが行われた八月は、娘がちょうど一歳の誕生日を向かえる時でした。娘のために記念になればと軽い気持ちで参加しましたが、イベント当日は会場に50組ものママと赤ちゃんが集まり、さらにはマスコミの方もいて予想以上の出来事にビックリしました！自分はなんだか凄い事に参加しているのだと、緊張したのを覚えています。朝から授乳しないで挑んだために、喉がカラカラだった娘は同時授乳の一分間、凄い勢いでおっぱいに噛りついて飲みました。その様子が目にとまったのか、嬉しい事に私と娘がほぼメインの写真が翌日の地元紙に掲載されました。

母親になって一年という節目に、母乳育児だからこそ参加できるイベントは自分にとっても大変貴重な体験になりました。菅野一透美(那須塩原)

☆同時授乳イベントは不思議な時間で子を思い授乳する母親の姿はなんとも素晴らしい光景でした。そしてスタッフさんたちに感謝します。フィンランドでは子をいかに育てていくかということを国の資源として取り組んでいます。母乳はそれのまさにスタートで、日本ももっと取り組める国になればいろいろな分野でメリットが出てくるはずです。阿久津幸子(那須塩原)

☆1歳10ヶ月の息子と参加した夏のイベント、ギネスに挑戦「世界同時授乳」。なんだかおもしろそう！と言う考え方だけで、その裏側の意味も良くわからず、参加してしまいました。

当日集まった人達で、一斉に授乳！なんとも単純な、そしてわかりやすい事でしたが、あの一瞬流れた時間は、今までにあじわった事のない雰囲気でした。見ず知らずの方達と、授乳を通して、心が通った感じがして、1分たった後、ほっとした瞬間に出了みんなの笑顔は、とても良い笑顔でした。

息子は、月齢が高かったので成功できるか心配でしたが、ぴったり1分間の授乳で、その成功も感激でした。趣旨を良く理解すると、なるほど！と思える事で、生まれてすぐの授乳が、これから始まる赤ちゃんとの生活にどれほど大切か、広く理解され、母乳育児がしやすい環境になると良いなと思いました。

古峰良江(日光市)

V メディアにも取り上げていただきました

- | | |
|----------------|------------------------|
| 8月6日 | 下野新聞に募集の呼びかけ掲載 |
| 8月8日 | 栃木放送(AMラジオ放送)ニュースとして放送 |
| 8月9日 | 下野新聞イベント記事掲載(写真あり) |
| なすしおばら広報 9月5日号 | イベント記事掲載 |

VI 事後の感想 ~来年に向けて~

突然おこなわれたイベントでしたが、参加者の方の感想を聞くと、とても素敵な体験ができたという方がほとんどでした。また、イベントの前はみんなの前で授乳する行為自体には抵抗があった人もいましたが、青空の下で、和やかな雰囲気で以外に抵抗なく授乳ができたようです。実際、撮影拒否の方のシートには全然座る人はいませんでした。

受付や、事後のサインの方法など少しスムーズにいかなかつた点は、来年の検討事項として考えていきたいです。事前の周知や時間があれば、授乳以外の内容をいれたイベントにできると思いました。今から、会にて次に向けて計画していきたいです。

母乳育児をしたいと思っていても、上手くいかず断念してしまうケースが結構あります。また、母乳にすると大変という方もいらっしゃいます。これからもイベントで、母乳をあげることはとても母子にとって大切でありとても楽しいことなのだということを、アピールしていければと思います。たんぽぽママのおしゃべり会自体が、母乳育児に関しての何らかの手助けを地域でできればと思います。

最後になりましたが、イベントを担当した私自身の授乳ができなかつたということが一番自分の中では心残りでした。準備に追われ、授乳開始5分前まで、娘をかまってなかつたため彼女はふてくされてしまったようです。来年はこのような方が出ないように、授乳者以外のスタッフで、上手く運営できればと思いました。

(編集・高橋香織)



8月8日 那須塩原市鳥が森公園にて



一斉授乳@つくば

～おっぱいで、笑顔が2倍☆しあわせいっぱい～

(一斉授乳@つくばのテーマ)

◆会場 子育てカフェ クンペルバウム 2F

◆当日のプログラム

9:30 参加者集合・受付開始

(・・・と予定していましたが、全員が時間厳守の早め行動をして下さったので、9:30には「受付終了」していました。)

9:45 イベント開始

一斉授乳の説明・イベント開始から交流会までの流れの説明

9:55 授乳準備開始

10:00 一斉授乳スタート

(あっという間に時間になってしまい、アセアセのスタートでした)

10:01 一斉授乳終了

参加者署名簿に署名

10:30 立会人署名

10:30～ 交流会（という名のおしゃべりタイム♪）

11:30 解散 ランチをされる方はそのまま残ってランチ

◆立会人

村井先生（筑波大学准教授・母性看護学・助産学）

木村さん（クンペルバウムマネージャー・幼稚園教諭・保育士）

◆スタッフ

司会：モーハウス野口さん

撮影&サポート：hiyotanさん

代表：よつば 副代表：青うさん 会計：こーのすけさん

♪JUN♪さん、わかめさん、はるる☆さん、けまさん、えりさん、ぺんぺんさん、M.Y.さん、A.Y.さん、I.K.さん、I.E.さん

◆参加者

49名（うち48名が時間内に授乳できました）

◆参加者・スタッフの感想（一部抜粋）

当日、会場の時計が少し遅れていて、まだまだなあーと余裕で話し込んでいたので、カウントダウンを聞いて慌てておっぱいをくわえさせたことを覚えています。

丁度娘が6ヶ月で、おっぱいを飲む時、回りをすごく気にする時期だったので、上手く飲んでくれるかドキドキしていたのですが、結構しっかり飲んでくれてホットしてました！（Sさん）

公開募集した訳じゃなく口コミで あそこまでの人数がそろったのなら、 ホントに母乳育児に力をいれている人が 多いってことなので、妙な連帯感を感じました。

より育児を頑張らねばと思い直されました～（スタッフPさん）

なんとかなるかなと楽観してましたがそうでもなかったですね。私個人としてはいろいろあってあまりよかったです、楽しかったイメージがないんです…ゴメンナサイ！

ギネスに名前が載ったのでも見ればまた違うのかしら…（スタッフAさん）

当日はかなり緊張とゆーか『成功させなきゃ』って思いが強くて、あまり記憶がありません。ただ一つだけ記憶に残るのが、一斉授乳のカウントダウンが始まって、それまでザワザワしてた会場がだんだんと授乳体勢の準備に入り、10時のスタートには会場が静かになった事。みんなでママのオッパイを飲んでる姿は一生懸命で、なんか不思議とゆうか感動的な光景でした。（スタッフKさん）

あまり声が聞こえず、授乳開始に少し遅れてしまいました。でも、みんなで授乳出来た事はいい思い出になりました。（Rさん）

母乳にこだわっていたというわけではないのですが、出るなら母乳でという考えでした。

最初の頃はミルクも足していたので母乳オンリーになった事と、おっぱいを飲んでくれるなんて人生のうちでほんの数年なので、その記念にと思って参加しました。

実際参加していっせいにおっぱいを飲む赤ちゃんの姿を見たら ちょっと感動しちゃいました。うちの子は1分のカウントの後もかなりの時間がついてました。（Rさん）

このイベントを通して、母乳育児について改めて考えることが出来ました。

あれだけの短期間にこれだけの人が集まつたこと、本当にすごいですよね☆

時差によって授乳の輪が地球を回っていくというのも私は素敵だと思いました！

日本での1分間は『今、全国のあちこちでこんな感じなんだ～』って妙に感動。

その後は、時差の表を見て『今は〇〇で同じように授乳してるんだ☆』って。。。

遠い場所で文化も違う人たちだけど、こうして存在を意識し身近に感じてすごく不思議な気持ち

になりました。(Dさん)

「なんか面白いことしたいなー」くらいの軽い気持ちだったのですが、思いがけずいろいろ知る機会になって良かったかなと思っています。心残りはたくさんありますが、@つくばとしてはお友達作りや情報交換等、育児が楽しくなるようなイベントになればいいと思っていたので、数ヶ月経った今「一斉授乳がきっかけでお友達になったんだよ」なんて言って貰えるのが、一番嬉しいです。(代表・よつば)

◆メディア

常陽リビング 2007年8月25日版18面に記事が掲載されました。

◆謝辞

つくば会場はとにかく準備時間がなかったので、本当に目が回るような2週間でした。

そんな中、ご自分は事情により母乳育児は出来なかつたけれど、「今頑張っているママ達を応援したいの」と細々としたサポートをして下さった hiyotan さん。本当に感謝しています。

急な話にもかかわらず、会場をお貸し下さったクンペルバウムさん、司会に駆けつけて下さったモーハウス野口さん、立会人を引き受けて下さった村井先生、木村さん。本当にありがとうございました。

準備や当日の運営に走り回ってくれたスタッフとそのベイビー達。ぎりぎりまで粘った記念シールの作成や、ママに甘えたいのに我慢してくれたこと、一つ一つ書ききれないくらい、全部感謝しています。

そして、一斉授乳にご参加頂き、成功のためご協力下さった皆さんに、心から感謝します。

一斉授乳@つくば

issei_junyu_tsukuba@yahoo.co.jp

http://mixi.jp/view_community.pl?id=2446698

http://blog.livedoor.jp/issei_junyu_tsukuba/



一斉授乳@いばらき

<地区名>

いばらき

<会場名>

茨城県ひたちなか市松戸体育館



<プログラム>

- 9:10 受付
- 9:40 主催者挨拶
注意事項説明
- 9:55 授乳体制
- 9:59 カウントダウン
- 10:00 一斉授乳
- 10:01 授乳終了
- 10:05 署名
雑談
- 10:30 記念撮影
- 10:40 自由解散



<参加者の感想>

●Y. M さんのコメント●

息子は広い体育館とたくさんの人々に大興奮で、授乳1分もたず、おっぱいを振り切って走って行ってしまいました（涙）記録に貢献できずごめんなさい。でももし2人目が生まれたらリベンジしたいな～。忘れられない思い出を作らせてもらって感謝です！

●M. K さんのコメント●

限られた授乳期間に、このようなイベントに参加できて本当によかった！貴重な体験になりました。

娘が成長したら、話してあげたいと思います。本当にありがとうございました。

●Y. T さんのコメント●

ありがとうございました。

期間限定おっぱいライフに貴重な体験が出来て本当によかったです。たくさんのママさん達と1分間を共有できて嬉しく思います！世界へ広がれおっぱいの輪～☆

●Y. O さんのコメント●

総勢91組の親子の一斉授乳は圧巻でした！また機会があれば是非参加したいです。そのときは私がおっぱいあげる子はいるのかな（笑）参加者が沢山いたのにご丁寧にありがとうございます。とてもいい記念になりました。

●M. T さんのコメント●

暑さと早起きに弱い親子として授乳時間が起きる時間だったりして…息子も私も交流会に参加できなかったのですが、もっと交流したかったです。

今、早めに起きる生活切り替え中なので、オフ会あったらぜひ参加したいです。

●N. O さんのコメント●

こんなに母乳で育てている人が多い事に驚きました。そしてカウントダウンが始まり、ざわざわしていた会場が、授乳タイムで一斉に静まり返り、とても神秘的な1分間でした。我が子も、一生懸命飲んでくれて、貴重なこの1分間を皆と共有できた事を幸せに感じます。

●R. I さんのコメント●

9時40分までには入場しなきゃならないのに…寝坊すけな私は、まんまと8時半に起き、ぎりぎり45分に到着！でもギリ入場できました。午前10時から一斉授乳で、日本のいろんな場所で同時におっぱいあげてるんだなあ～って感動。有意義な1日でした。

●M. N さんのコメント●

たくさんのママ&ベビーちゃんに驚きました！スタッフの方はおんぶしながらでとても大変だったと思います。貴重な体験をさせていただきました。いい記念になります。

<主催者プロフィール>

育児サークルを通じて知り合った総勢7人のママたち。

全員“完全母乳”で、まさにおっぱい育児の真っ最中！ですから、この一斉授乳は私たちにぴったりのイベントでした。

ママたちの平均年齢28歳位！？

とにかくみんなアクティブで、会っては育児について何時間でも語ってしまいます（笑）

<主催者の感想>

当日、不安と期待あまり眠れなかつた私。イベントに遅刻する夢を見たくらい頭の中はいっぱい。現地到着後、ワタワタと会場準備…。必ず1分間を成功させたい。とにかく必死だった。

なんとか一刻でも早く会場入りしてほしくて遠く離れた駐車場まで声をかけに走り、受付で子供を抱えて名前を書くママに代わって抱っこしてみたら大泣きされ、てんやわんやで受付が終了した。後は待ちに待った一斉授乳!!タイムリミットは残り2分。

授乳体制がきちんと整わないままいざカウントダウン!!

そして1分間が始まった。

ざわめいていた91名のママさんと子供達が一つになった。

どよめきは静寂を増し、そしてあの一体感が私にはしっかりと感じられた。あの1分間世界中でママがおっぱいをあげたんだあって思ったら、すごく不思議な見えない連帯感が伝わって来て私もその一人になれた事がすごくうれしかった。



ミルクっていう簡単・便利で栄養価の高い飲物があり、ママは大助かりだけど、でも私は思う。

“あの授乳してるときの息子の真剣な顔、時々二人してにやけながらも見つめ会える幸せ、ママじゃなきゃ味わえないんだよね。思う存分味わっていたい。息子におっぱいを存分楽しんでほしい”。だっていつかは寂しいけどおっぱいから離れてしまう時が来るから。

でもおっぱい育児のママは大変な事もたくさんある。ミルクなら楽なのについて思った事もあった。けれど、私はこのおっぱいの幸せを捨てられない。

“授乳中の息子の顔を見ていたい”。そう思ったら我慢出来た。

このイベントを機会におっぱいの幸せを多くのママに知ってもらいたい。こんなに沢山、おっぱいで育てるママがいるんだ！って。おっぱいで育てる勇気を持ってもらえたらしいな。

来年も再来年もこのイベントが継続されて周知されるようになったらどんなに嬉しいだろう。そう思った。そしておっぱいで育てようって思うママが増えて欲しいなと思う。



<開催にあたっての苦労話>

7/20 mixi の友人日記で母乳一斉授乳のイベントを知る。

7/21 会場が遠方しかないため、いばらきでもやっちゃおうと計画。

7/23 mixi でコミュニティ開設。

7/24~7/25 ギネスへのエントリートラブル!!

7枚にもわたる英文ガイドラインの翻訳に行き詰まる。英語の苦手な私たちは知人をあたったり、mixi 上で各地域の管理人さんたちで話し合い。それでも解決しないため、テレビ局や新聞社に協力をお願いできないか電話してみた（協力は難しいとあっけなく断られましたが……苦笑）

また、期日が7/9と書かれておりエントリー画面が開かれない（汗）エントリー自体間に合わないのではないか!?と凍りつきながらも必死にパソコンと向き合う。スタッフ全員ハイハイをする子供がいるため準備がはかどらず、真夜中にメールや電話のやり取りをする日々……（笑）

7/26 ギネスへのエントリーが無事に完了!!

本当に長い3日間だった。準備の中で一番つらかった時期かも。そして、1日でチラシ作り!!

7/27 チラシを印刷。

スタッフの勤めている某会社の協力があり、なんと無料で1000枚のチラシが完成……（涙）

7/27~8/2 チラシ配り。

育児支援センター、産婦人科、小児科、助産院、母乳育児相談室、デパートの授乳室などをスタッフで手分けして回る。（宗教団体と勘違いされた場所もあったっけ・苦笑）

8/3~8/7 スタッフ募集＆当日の準備。

当日は専門職の立会人が2人は必要!!子供のいないお手伝いさんもできるだけ必要!!知人を当たったり、母やその友人にも協力をお願いしたり、協力者を探すのに前日までかかりました（汗）準備は、学園祭かのように楽しみながら。受付のナンバーがおっぱいの形になっていたことに気づいてくれた人はいたのかなあ??参加希望者からの申込が大殺到したのは、ラスト2日間でした。

その2日だけで、なんと50組以上も参加希望者が増えました!!（全部で95組の参加希望）

準備中約2週間、ほぼ連日朝～夕方まで主催者宅に集まりました。真夜中も準備を進めていたため、すっぴんで離乳食持参（笑）でもなぜかその時期のほうが家事が上手にこなせていたような??

当日は会場の準備に受付でバタバタ……なんとか91組の受付が終了したのも5分前。挨拶及び注意事項の説明も、急いで読み上げるだけになってしまいました（汗）さらにバタバタでカウントダウンに突入!!ケータイで時報を流しながらだったので、10秒前が50秒になっていた（笑）

燃え尽き症候群!?イベントの次の日からスタッフの子供全員揃って風邪ひきました。

とにかく、最高に楽しかった。

当初は25組も厳しいかな!?と思っていたので、91組の親子に参加してもらえたのは…何とも幸せで胸がジーンとしています。本当、皆様のおかげ…そして日本初のこのイベントを無事に終了できたのも皆様のおかげ…本当にありがとうございました。





世界一斉授乳@朝霞 イベントレポート

- 日時 2007年8月8日（水）10:00～10:01
- 会場 埼玉県朝霞市・弁財市民センター1Fホール
- 参加人数 38組（うち授乳成功37組）
- 立会人 看護師、助産師各1名

2007年8月8日、関東地方はこの日も朝から大変暑く、皆さん汗だくになりながらの到着でした。時間が早いため間に合わない方も出るのではないかと気をもみましたが、受付終了までに、事前申込み31組を大幅に上回る38組もの親子が無事受付を済ませました。

市広報誌の取材もあり、100名収容のホールも多くの親子でところ狭しと賑わう中、10時の時報に合わせて、1分間の一斉授乳。その場にいる赤ちゃん全員がおっぱいを飲んでいるという光景は壮観で、朝霞会場は静けさよりもワクワクした気持ちに包まれ、「えっ？もう1分経ったの？」という声も上がっていました。

チャレンジ終了後、参加者全員の記録・署名をもとに、37組の1分間授乳成功が立会人によって確認されました！

授乳記録の署名・確認が終わって立会人の方を囲んで全員で記念撮影。

その後引き続き交流会を行いました。先に配布した冊子をもとに

- ・母乳育児のゴールド・スタンダードとは
- ・被災時こそ母乳を
- ・スリングや授乳服といった母乳育児支援アイテムの紹介

などについてお伝えました。また、おしゃべりに花が咲いたあとの渴いた喉を、乳腺の働きを整えてくれるマリエン薬局さんの「授乳・乳腺炎対策ブレンド」で潤していただきました。

市内を中心に、近隣の志木市や所沢市、さいたま市など各地からいらした母乳育児中ママたちのよい交流の機会になったようです。



イベントプログラム

- 日時 2007年8月8日（水）10:00～12:00
- 受付時間 9:10～9:40
- 参加費 200円
- スケジュール
 - 9:10～40 受付
 - 出欠チェック→集金→荷物チェック→記名
 - 9:50 授乳時の注意事項等説明・授乳準備
 - 10:00 時報に合わせて1分間授乳にチャレンジ
 - ※前後の授乳継続ももちろんOK
 - ・授乳成功したかどうかの申告・署名
 - ・立会人による記録確認、署名
 - ・記念撮影
- 10:30～12:00 交流会（以降退場自由）
 - ・ゴールド・スタンダードなどの説明
 - ・授乳ブレンドハーブティのサービス
 - ・ランチ

当日および事後アンケートより

【完全母乳哺育】

23/30=77%の方が完母と回答。様々な月齢の赤ちゃんが母乳だけで育てられている

【困っていること、悩み】

低月齢を中心に足りているかの不安や、実際足りていないという悩みが多く見られる

ママが体調が悪いとき薬が飲めない、預けられないことが辛いという意見も多い

高月齢では「いつでもどこでも欲しがるので困る」という意見も

【どんなことに気をつけている?】

水分を積極的に摂る、油脂・乳製品・刺激物を控えるなど、トラブルを避け、おいしい

母乳を飲んでもらいたいと思っていることが感じられる意見が多かった

【いつまであげたい?】

どの月齢でも「赤ちゃん本人がやめようと思うまで」=自然卒乳を望む意見が多かった

次いで1歳半くらいまでという意見がめだった。ここ数年で長期授乳、自然卒乳に肯定的

あるいはこれらが主流になりつつあることがわかる

【イベントの感想】

・授乳するのは長い人生のほんの短い期間だけ。とてもよい記念になりました

・こんなにたくさんの親子が集まって何かを成し遂げるイベントはなかなかないので
参加できてよかったです

・みんなで一緒に授乳できて、とても楽しかったです

・いつもひとりでしているので、とても不思議な光景でした

【イベント参加後授乳に関して変わったことは?】

・次に出産するときには最初から母乳だけで育てたい

・愛おしいと思っていた授乳がさらに愛おしくなった

・離乳食開始をぎりぎりまで遅らせてもいいかなと思った

・授乳するのは長い人生のほんの短い期間だけなのでもっと楽しもうと思った

【次回も授乳を続けていたとしてまたイベントに参加したい?】

1) 近くで開催されないなら、自分が主催スタッフになって開催してみたい …2名

2) 近くで開催されなくとも多少足を伸ばしてでも参加したい …3名

3) この近くでなら参加したい …2名

4) 参加しないと思う …1名

事後のアンケートのため回答母数が少なかったものの、7/8=9割近くの方がまた参加してみたいと回答。また主催を引き受けてもいいという回答もあり、次回この地域で再び開催を期待してもよいかと思われる。

【このイベントをどこで知ったか】

インターネットではmixi「のんびり自然卒乳」「朝霞っ子育ててます☆」コミュニティ、ベネッセウィメンズパークでの告知の他、マイミクシィさんの日記で紹介されていたという意見が数件見られた。友人から聞いて一緒に参加という方も多く、皆さんにこの活動を積極的に広めようとしていただけたことがわかる。また、児童館などでチラシ・ポスターを見て、という地域での宣伝活動の成果も見られた。

世界一斉授乳イベント@朝霞を開催して

本イベントを mixi の口コミで知り、当初は近隣会場へ参加するつもりでしたが、開催地が遠い場所になったことなどから朝霞での単独開催を決意。この時点で当日まで2週間を切っていました。

最初は実質1人での準備。もう何もかもが手探りでいっぱい…それでもチラシ配布や近隣各市の育児コミュニティでの告知をしているうちに、主催スタッフにも恵まれました。我が家に集まつての打合せはなんだか文化祭の準備のようで、とても楽しく懐かしい気持ちに。

前々日夜になっても規定の25組に届かず悩みましたが、当日チラシなどを見て直接来場の方も続々。38組もの親子が集まり、立会人の方なども含め総勢80名超の大盛況。多謝のひと言です。



記事掲載

朝霞市の広報誌「広報あさか」9月1日号（右図）

地域育児支援紙「トコトコ GYU！朝霞版」17号

すまいるFM Webサイト「街のニュース」

<http://www.fm767.net/xoops/modules/bulletin/article.php?storyid=72>



参加記念に母子手帳に貼れる記念シールを配布
理想的な母乳育児の普及を願って「ゴールド・スタンダード」の象徴である金のリボンをあしらいました
予想以上の好評をいただきとても嬉しかったです♪

ギネスに挑戦！

～世界中のママと分かち合う、おっぱいの幸せ～

8月8日(木)、弁財市民センターで、世界同時授乳イベント(朝霞会場)が行われました。これは、2007年世界母乳育児週間(8月1日～7日)の記念イベントとして、WABA(世界母乳育児行動連盟)が提案し、世界一斉授乳のギネス記録に挑戦したものです。国内では全国26か所、1,100組余りの親子が参加し、日本時間午前10時から10時1分の間に授乳が行われました。にぎやかな朝霞会場では、37組が授乳に成功し、参加者からは「一体感があつて楽しかった」などの声がありました。



21 広報あさか 2007.9.1

最後に配布冊子の巻末に添えた下のメッセージを、皆さんへの感謝もこめてレポートの締めくくりとさせていただきます。本当にありがとうございました。

本日は世界一斉授乳イベントに参加くださいましてどうもありがとうございました。

世界一斉授乳イベントに日本全国でまとまってエントリーするのは今回が初めてのことです。

つまり、皆さんのが臨んだ本日の一斉授乳の記録は日本新記録となります。

このイベントへの参加が皆さんのお母乳育児の励みになれば幸いです。

世界一斉授乳イベント@朝霞 主催 えいみい



一斉授乳 @ 川越川鶴

会場:埼玉県川越市川鶴公民館

アスファルトで目玉焼きが焼けそうな猛暑の中、35組のおっぱいっ子が参加しました。

<プログラム>

- 9:20 受付
- 9:50 イベントの説明・スタンバイ
- 10:00 一斉授乳
- 10:01 ベビーマッサージ
手遊び・パペット遊び
- 10:15 集合写真撮影
- 10:25 ミニパネルシアター
- 10:40 母乳育児資料の説明
- 11:00 座談会・自己紹介
- 11:30 解散



(写真左)一分間の一斉授乳中。感動的な時間でした。
皆さんから金色のオーラが出ているようです

(写真左下) 登録用紙に署名をする間、立会人のお二人がパペットや手遊びを披露。現役の保育士さんとベビーマッサージの先生です。さすが上手！

(写真右下) 手作りのパネルシアターは「おおきなかぶ」。せーので、うんとこしょ、どっこいしょ！



アンケートのまとめ

参加者に任意提出していただいたアンケートをまとめました。母乳育児の参考になればと思い掲載します。

<はじめて授乳したのは?>

- ・一時間以内（カンガルーケア含む）
- ・二時間後
- ・翌日
- ・二日後
- ・三日後
- ・五日後

<はじめて授乳したときの気持ちは?>

- ・感動した
- ・うれしかった
- ・不安
- ・不思議だった
- ・たくましさを実感
- ・思っていたよりも出なくて焦った
- ・ほっとした
- ・安心した
- ・大変だと思った
- ・力強くてびっくりした
- ・母親になったことを実感した

<母乳育児で困ったこと>

- ・赤ちゃんの体重が増えない
- ・授乳間隔が短い
- ・母乳量が足りているかわからず不安
- ・母乳量がなかなか増えない（混合→完母）
- ・張っているときに飲んでくれない
- ・哺乳瓶で飲まず、母乳もあげられないとき
- ・おっぱいトラブル（乳腺炎など）
- ・外出時、授乳スペースの確保が難しい
- ・人に預ける時間が限られる
- ・哺乳瓶で飲まない場合水分補給の手段が母乳のみ
- ・歯が生えてから噛まれて痛い

<母乳育児で気をつけていること>

- ・授乳間隔を空けすぎない
- ・バランスの良い食事をしっかりとする
- ・のんびり・リラックス
- ・赤ちゃんの目を見てあげる
- ・水分をしっかり取る
- ・よく眠る
- ・刺激物やアルコール・カフェインを控える
- ・おっぱいトラブルの予防

<いつまで母乳をあげたいですか?>

- ・一歳
- ・一歳半
- ・二歳
- ・離乳完了後
- ・もう満足
- ・仕事に復帰するまで
- ・次の子を妊娠するまで
- ・卒乳まで（子供がいらないと言うまで）

<母乳育児の心配事や疑問は?>

- ・断乳（時期・方法）
- ・卒乳の時期
- ・人に預けるときどうするか
- ・母乳の栄養について
- ・カフェインやアルコールの影響度
- ・生理について（早い／遅れている）
- ・次の子を妊娠したとき断乳するか
- ・虫歯への対処
- ・母乳が足りているか
- ・母乳の飲ませすぎはあるか
- ・乳首を噛まれる
- ・おっぱいが張らなくなつた

<参加者の感想>

- ・貴重な体験ができ楽しかった
- ・感動しました
- ・一分あつという間でした
- ・面白い。ほのぼのした気持ちになった
- ・これだけの人数がおとなしく飲んでいて感動
- ・シーンとした会場で赤ちゃんがおっぱいを飲んでいる姿は圧巻でした
- ・面白い企画に参加でき楽しかったです。多くのお母さん達も交流できてうれしかった
- ・ステキな経験でした。いい思い出になりました
- ・ギネスに載るということで、とても記念に残るイベントでした。ありがとうございました
- ・すばらしい。ちゃんと飲んでいるのがすごい
- ・子供の同世代のお友達&おっぱい仲間に出会えてうれしいです
- ・一斉に授乳ってどんな感じかなとドキドキしましたが、いろいろな月齢の子とワイワイ出来てステキだと思いました
- ・意外にも沢山の人が来ていてびっくり
- ・育児の中で授乳している時間はわずかなので思い出のひとつとして良い記念になった
- ・楽しかった！子供もこんなに沢山いるところで刺激されて良かったみたい
- ・もう終わってしまったという感じです。でも世界中のママ達が同時に授乳したんだと思うと感動！もっとそのことを感じながら授乳すればよかったです
- ・とても楽しかったです。めったにない機会
- ・日本中で今おっぱいをあげてるんだ～と想像すると不思議な感じ
- ・記念になると思い参加させていただき、良い経験ができました
- ・このような貴重なイベントに参加できてとてもうれしいです。母乳はすばらしいということを再確認できました
- ・なかなかギネスに挑戦という機会がないので娘とのいい思い出になった
- ・どの子も集中して飲んでいてびっくり。赤ちゃんもみんなで食べると美味しいのかと思った

<来年以降もこういったイベントがあれば?>

- ・参加したい
- ・卒乳していなければ参加したい
- ・次の子が産まれていれば参加したい
- ・他のギネスにも挑戦したい

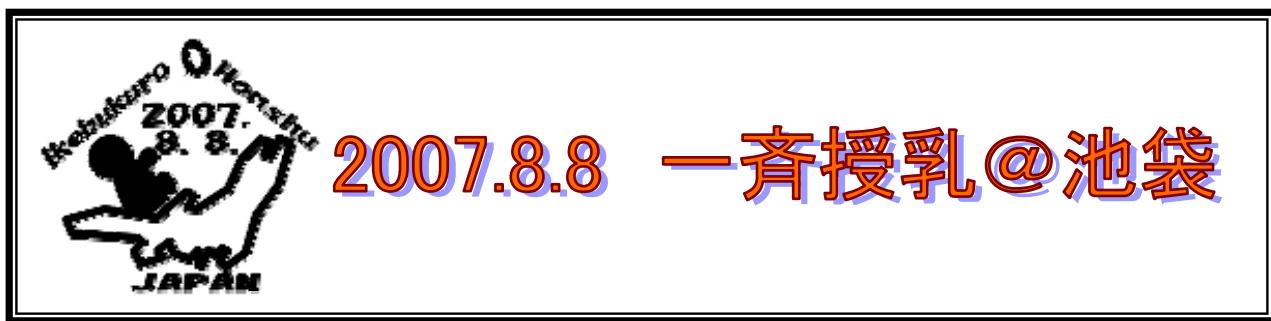
編集後記

まずは、参加者の皆様、立会人とスタッフの皆様に感謝します。そして各地区の主催者の皆様お疲れ様でした。

「ギネスに挑戦？やる！」というノリで立候補した@川越川鶴主催者。Mixiで他地区と素晴らしい連携がとれたものの、準備は一人で突っ走った感があり、猛烈に反省しています。もし来年以降もこういったイベントがあれば、組織立って動いたほうがより良く、よりスムーズに開催できるかと思います。跡継ぎの方、ヨロシクお願ひします（泣）

さて、一歳半の我が娘は今日も母乳を飲みました。風邪でのどが腫れてしまい、ごはんが食べられない。その分母乳でお腹を満たそうとしますが鼻が詰まって苦しいので、キーー言いながら乳首を噛みます。辛いなあと思いますが、こういった事も良い思い出になるかもしれません。母乳を卒業した友人は、この胸からお乳が出ていたなんて信じられないと言います。多少痛い思い出のほうが忘れないでいいのかも？イベントでも準備段階で苦しい時もありましたが、皆さんと同じ時間を共有できましたこと、まとめ役という大役ができたことを誇りに思います。皆さんが楽しかったと感じていただければ本当にうれしいです。ありがとうございました。





2007年8月8日（水） 天気 快晴

- 池袋会場 豊島区東部子ども家庭支援センター「とわむ」
- 参加母子数 64組
- 立会人 長谷川万由美（B S N）
神谷千晴（歯科医）
- スタッフ 大森典子・平山美恵子・山本晃子・新島梢・水谷睦・古川敦子・
戸田梨奈・飯島幸江
稻葉信子（B S N・L L Lリーダー）

『プログラム』

09:10 受付
 09:45 イベント説明・注意事項
 10:00～01 一斉授乳
 署名
 集合写真撮影
 アンケート記入
 10:40 「赤ちゃん家庭の防災対策」
 11:30 終了



ようこそ！！



受付がすんだら



まもなく運命の10時…



ちょこっと打ち合わせ

池袋会場には朝早くからたくさんの方々が集まりました。

総勢64組！こんなに大勢の人が参加してくれるとは、イベント立ち上げ当初、予想もしていませんでした。本当に嬉しい悲鳴です。

◆東京13区・埼玉3市からの参加

池袋のある豊島区はもちろん、北区・練馬区・板橋区・足立区・文京区・台東区・新宿区・渋谷区・中野区・荒川区・江戸川区・葛飾区と都内13区から。そして埼玉県さいたま市・戸田市・草加市からも参加していただきました。

朝の通勤ラッシュに揉まれながらも、何とか駅まで辿り着き会場へ。会場が駅から少し離れていたため、初めて来る人は2ヶ所の駅でそれぞれ集合する形をとりました。みんな余裕を持って来てくれたようで、スムーズに誘導も出来たとお出迎え隊が話してくれました。

受付となった2階の踊り場は空調がなくかなりの暑さ…。部屋からもれてくる少しの冷気だけで、我慢しながらの受付作業でした（汗）。暑い外から室内にきてもすぐに涼しい部屋に入れなかったのは、申し訳なかったです。



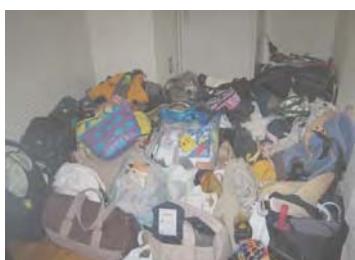
受付はこちらでーす！



只今、受付中

◆ガイドラインより

イベント室内には人工乳製品・ベビーフード・人工乳首・ほ乳びん・おしゃぶりを持ち込むことはできません。そこで、多目的室の脇の小さなスペースを荷物置き場として使い、手荷物を全部預かることにしました。とは言え、64人分の荷物。他の荷物の上に載らないようにするにも一苦労でした。もちろん出すのはもっと大変…。



荷物預かり所

立会人には歯科医のママ友と、このイベントにWABA本部との架け橋になってくださった「マユミ先生」ことBSN（母乳育児支援ネットワーク）の長谷川万由美さんが協力してくれました。さらには当日、BSNとラ・レーチェ・リーグ・リーダの稻葉信子さんがお手伝いにかけ付けてくださいました。

◆まもなく運命の10時…

バタバタと受付が終わり、イベントの説明や授乳に関しての注意事項をしているとあれよあれよと5分前。皆が準備に取り掛かります。説明の最中から「早くおっぱいちょうだい！！」の大合唱。

でも、時報の秒読みと共に少しずつ静かになっていき…運命の10時。すごい静けさと共に、幸せな時間が流れました。コクンコクンと、みんな一生懸命飲んでいます。短いようで長い1分。どのお母さんも1分間ちゃんと飲んでくれるか、ハラハラしていたことでしょう。

そして01分。「わ～、すごい！！」会場中が感動に包まれました。何とも言えない一体感。この1分で皆が優しい気持ちに、幸せな気持ちに、そして何よりも我が子を心から愛する気持ちになれたのではないかと思います。



5・4・3・2・1…



おっぱい、おいしいよ♪



1分過ぎても飲んでます



後日、報告書と集合写真と共に「イベントに参加した証拠」として、母乳育児のシンボルの金色のリボンのシールを配り、母子手帳に貼ってもらうことにしました。母と子そして家族・社会への結びつきを大切にこれからも母乳育児をしてください。

『編集後記』

mixiの「のんびり自然卒乳」でこのイベントを見つけたとき、なんてステキな企画なの！と胸が熱くなり、気が付いたら企画立ち上げに身体が動いていたのです。一生のうちでほんの少しきな授乳期間。今まで母乳育児をしてきたママに、素敵なプレゼントになつたらいいなと思って準備を進めていました。

娘はまだまだおっぱいの7・8ヶ月。ポスターやチラシを配るために、暑い中おんぶで自転車をこいでいろいろな所を回ってきました。デパート以外はどこでも快く引き受けくれたので、周りがいはありました。

当日、朝からはりきって着物を着て会場入り。授乳は脇に空いている「身八つ口」からします。着物があれば授乳服はいりません。By 着物育児推進派

そうそう、来年ですがもちろんまた企画させていただきますよ！一斉授乳のイベントがいつまでも続きますように。娘が母親になった時まで続けるのが大きな夢の一つです（笑）



代表 大森典子

みんなの感想



集合写真

◆一斉授乳当日は息子の1歳の誕生日☆
1年前、初めて授乳した時の感動を思い出し、素敵なイベントに参加出来たコト、良い記念になり嬉しかったです！（でも実は1分間、周りに気を取られている息子にハラハラしてました…。）【Mie】

◆開始と同時に、今までの大号泣が嘘の様に一瞬のうちに静寂に包まれた会場。あの感動は、一生忘れないと思います。母娘でとても貴重な体験をさせて頂きました。母乳育児が出来る事に、改めて感謝です☆
【あづめぐ】

◆授乳を始めシーンとなった時不思議な気分になりました。世界中で授乳しているママと赤ちゃんがこの空気を味わっているんだな、と思うと嬉しいです。その中に私達親子も参加できとてもいい記念になりました。
【早希】

◆開始直後に静まり返った部屋、見渡すと赤ちゃんとママの幸せな顔がいっぱい！この瞬間の感動は一生の思い出になりました！いつか息子が大きくなってこの話をすことが今から楽しみです。また参加できたらいいな！
【てつ】

◆母親になるって、想像していたよりも楽しいこと一杯だったし、新しい出会いが沢山ありました。息子と一緒にギネスに挑戦出来るなんて、想像できた？？ オッパイバンザイ！！！
【ほそし】

◆沢山のママ＆ベビーと感動の時を共有でき、本当に感謝です。たった1分だったけれど、色々な思い出と色々な思いが駆け巡った1分間。授乳できる幸せを改めて実感。愛する息子と共に、また来年もチャレンジします！！
【Aki】

◆母乳育児をはじめて10ヶ月。娘が生まれたばかりの頃は、上手に吸わせてあげることが出来ず、乳首に傷ができたり、授乳を苦痛だと思ってしまったこともあります。それでも、今では、誰にも代わることのできない母乳育児ができる事を心から嬉しく思っています。

そんな中で参加することが出来た『一斉授乳』のイベント。同じ会場でたくさんのお母さん＆ベビーちゃんと一緒に授乳できたこと、世界中のお母さん＆ベビーちゃんが同じような時間を過ごしていることを思うと、本当にステキで貴重な体験ができたと思いました。

私は、おっぱいを飲んでいる時の、娘の顔が大好きです。大きな目で私を見つめたり、「おいしいおいしい」とほっぺをたたいたり、安心しきった顔で目をつぶっていたり、いろんな表情でおっぱいを飲んでくれます。これからも、娘との貴重な授乳タイムを大切にしていきたいと思います。一緒に参加した会場のみなさん、世界中のみなさん、ありがとうございました。

【ひよママ】

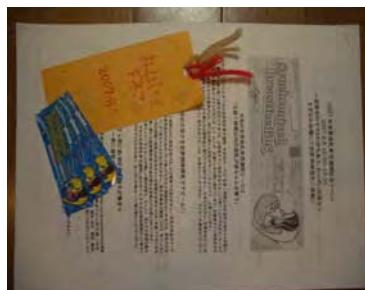


一斉授乳@東京・すぎなみ

～お産の街・杉並でも、おっぱいの輪～

◆日時：8月8日(水)

- ◆会場：阿佐谷地域区民センター
- ◆プログラム：9：20受付開始
9：45集合
9：55授乳姿勢開始
10：00授乳開始
10：01授乳終了
10：05記念撮影
10：10～お茶会開始
- ◆参加費：無料（カンパ制）
- ◆参加者：46組の母子



- ◆立会人（五十音順）
木原令夫先生（医学博士）
南俊江先生（助産師）
- ◆スタッフ
発起人、母乳お役立ち冊子作成：突元正子
本部との連絡、HP作成、チラシ作成、記念ステッカー作成：鈴木麻朝
会場装飾、記念しおり作成：石塚沙希
会場運営：歌丸理美、内山智子、小田さち恵、久保田睦子、中村智子、蓮沼彩子、
蜂谷せい子、兵藤さやか、水上さちこ（五十音順）
- ◆配布物：母乳お役立ち冊子、ステッカー、しおり
- ◆参加者の感想

○会場でスタッフをさせていただいた石塚です。

二歳半の息子（黄色いTシャツ）が途中で騒ぎ、皆様にご迷惑をお掛けしたことを申し訳なく思っております。今日は猛暑の中、沢山の方にお会い出来て大変楽しく過ごさせていただきました。

偶然なのか 8月8日は〈パイパイの日〉とも読めるなあ。と思い、なんだかステキな日だったなど余韻に浸っています。本当にありがとうございました。

受け付けてお配りした冊子、ステッカー、しおりもすべて手作りですので母子手帳などに貼ったり、お子さんの月齢ページなどに挟んでご利用ください（石塚沙希さん）

○スタッフの鈴木です。みなさん、暑い中お疲れさまでした。

短時間の呼びかけで、あんなに大勢のママ＆赤ちゃんが集まってくれるなんてスゴイわ～！

受付から授乳までの間は泣いている赤ちゃんが多くて、スタッフの声が通らないほど騒がしかった会場内でしたが、授乳を始めるとスッと静かになっていって、なんだか感動的でしたね～。

実は私は完母じゃなくて混合なので、母乳が出ない悲しみと、ミルクをあげる度に罪悪感のような気持ちで、日々辛く感じていたのですが、今はなぜか授乳が心の負担にならなくなっています。一斉授乳に参加できたことで、母乳の量よりも、母乳をあげられることに焦点が移ったのかな？このイベントを毎年続けていたら、母乳ママの励みになりそうですね。幸せな1日を、どうもありがとうございました（鈴木麻朝さん）

○昨日は楽しいひとときをありがとうございました。会場は熱気でムンムン！！お母さんたちのアツーイ思いがほどばしっていましたね！！

私はミルク信仰の実母と毎日バトルしつつ、ほとんどミルクを与えることなく母乳で育てました。でも始めはあまり量は出ていなかつたんでしょうね。我が子は退院してから10日も便がでなかつたんですよ。体重の増加も少なく、何度挫折しそうになつたことか！でも病院の助産師さんや母乳外来のスタッフに支えられてなんとか6ヶ月。お肌はつやつや、ぽってつとふくらして毎日元気いっぱいです。



そんなときこの一斉授乳の会を知りました。これは！！行かねば！！と参加。一生の思い出ができました。

授乳しているときは毎回幸せを感じます。赤ちゃんをとてもいとおしく感じます。その子なりの育ちをゆっくりみまもるゆとりができます。やっぱり母乳育児ってすばらしい！！そんな思いをあらためてもつた1日でした。つくまささん、スタッフのみなさん、暑い中ありがとうございました！（Yさん）

○昨日はお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

母乳＆ミルクで育ててくれた実母は完母で育てている私を応援してくれているのですが、ミルクのみでしか育てたことのない同居している義母からは「お世話させてもらえない」と人の考えも理解しようとせず、

相手がどう受け止めるかも考えずに好き勝手なことを言われていました。

今回のイベントに参加したことで、完母で育てることに自信がつき、何と言われようが卒乳まで完母で貫き通うと思います。（M.K.さん）



○先日はお疲れさまでした。最初は25組は集まらないのかなと思っていたのですが、結果的には46組！素晴らしいですね。

2ヶ月半の娘と参加させて頂きましたが、まだあまり外出させていなかつたため、今回、色々な赤ちゃん達と会えたことは、娘にとっても良い刺激になったと思います。

実際、最後は少しグズったものの、殆ど泣きもせず周りをくるくると見渡していました。

今回参加したことで改めて母乳育児に魅せられました。そしてステッカーも早速母子手帳に貼り、満足気に眺めています。ありがとうございました。（M.H.さん）

○先日は素敵な時間をありがとうございました。

一斉授乳開始時間のあの静けさのなか、この場に参加できる幸せ、子供に授乳できる幸せ、子供のぬくもりなどをヒシヒシと感じながら授乳することができました。あの瞬間、世界中でどれだけの親子が授乳していたの？？想像すると感無量ですね。

また、最初は楽しそうということで参加申し込みした私ですが、それ際、このギネスの悲しい背景を知ることができたことも本当によかったです。母乳育児、バンザイ！ですね。

短い時間に、段取りや受け付けなどされているスタッフのみなさまの一生懸命なお姿も目に焼き付いています。本当に疲れさまでした。(M. S. さん)

○先日はお疲れ様でした。半年ほど前まで普通のOLだった私が、区民センターの一室で一斉授乳だなんて、子供が出来て本当に世界が変わりました。私もミーハー気分で申し込みましたが、知らなかつた世界の実情を知ることもできて大変勉強になりました。かわいいかわいいみんなの赤ちゃんが、元気に育ってくれることを願うばかりです。スタッフとして何かお手伝いできるかと思ったのですが、結局何もできずにすみませんでした…。準備など本当に大変だったと思います。いい思い出になりました。本当にどうもありがとうございました (S. O. さん)



○先日はお疲れ様でした。最初はギネスに挑戦という内容にひかれ、いい思い出作りに…と思って参加希望を出したのですが、このイベントの趣旨を知るにつれ正直びっくりしました。そして、自分は母乳育児が出来る事に改めて感謝すると共に、母乳育児の大切さをもっと多くの人に知ってほしい、と思いました。

あの会場での一分間、母乳育児を大切にする人達と、同じ気持ちを共有出来た感動は私の一生の宝物です。そして、これから育児を今以上に大事にしていこうと思いました。最後になりますが、このような素敵な機会を作つて下さったつくまささんを始め、会をもり立てていただいたスタッフの方にこの場をかりて御礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。それと、ちょっとしかお手伝い出来ずすみませんでした。(S. H. さん)

○普段、外出時におっぱいをあげていると少数派だと思っていましたが、これだけ沢山のママ達が集まって、エネルギーがむんむんの中おっぱいをあげるという感動的なイベントに参加できてとてもうれしかった。こういうイベントで知り合ったママ達とこれからも育児の話もしたいし、もっとおっぱいの良さを知らせたいと思いました。(S. H. さん)

◆発起人より

『世界中のママと分かち合う、おっぱいの幸せ～ギネスに挑戦・世界一斉授乳』のすぎなみ会場には46組の赤ちゃんとママが集い、大盛況のうちにギネス挑戦と親睦会を終えることができました。

世界中の赤ちゃんがママのおっぱいを飲んで育つて行けるよう祈りながら一斉授乳を楽しみ、ギネス挑戦としては44人という記録を作ることができました。これは会場に集まったみんなで作った記録です。



会場にお越しくださったみなさま、ありがとうございました。

会場に入りきらないためにお越しただくことの叶わなかつたみなさま、次の機会には、ぜひ一緒に集いましょう。

そして9日間という短期間で告示・手続・準備・会場運営と力を尽くしたスタッフのみなさま、お疲れ様でした。

ギネス挑戦のための手續が守れるよう、受付時のチェックに時間がかかったり、予想以上の賑わいにスタッフの声が届かなかつたり（マイクをレンタルしておけば良かったなあと反省）、会場の熱気でエアコンが効かなくなつたり、ご不便をおかけしたり至らない点は沢山ありましたが、みなさまのご協力のもとに、無事一斉授乳のイベントを終了することができたことは、とても幸せなことだと感謝しております。

来年もまた、おっぱいへの熱い想いを胸に再会できますように！（突元正子）



一斉授乳@府中・調布

主催：平石沙織 & NPO自然育児友の会

...○○○°°°・主催者より°°°*○○○...*

不安そして新しい出会い

私が同時授乳のことを知ったのは7月28日のことでした。なんとなく見てたmixiでイベントのことを知り、即参加を決意！実は長女の時、体重増加のことで医者からミルクを足すように言われ混合から完璧に。母乳育児ができなかったことが悔やまれ、次は絶対母乳で育てようと思っていました。そして次女を出産し、念願の母乳育児。女性が母乳で自分の子を育てる……当たり前のことですが、それができる幸せを改めて感じ、記念になればとイベントに参加することを決めました。しかし、開催地を調べてみるとどこも遠いところばかり。いつもならそこで参加を諦めてしまうところですが今回ばかりはどうしても参加したくて、ならば自分で開催してみようと思いつつ……。しかし、前例のない初めての「同時授乳」。しかも私はそんなイベントを開催したことなど一度もなく、開催日まであと数日。会場探し、参加者集めなど何から手をつけていいのか分からず、気持ちばかりが焦っている時、「自然育児友の会」との出会いがありました。

その後は会の伊藤さん内田さんにほとんどの準備をお願いしてしまいました。私だけだったらきっとこんな素敵なイベントは開催できなかっただと思います。本当に感謝です。当日は、短期間の準備のため、至らなかった点も多々あり参加者皆さんにもご迷惑を掛けてしまいましたが、1分間の授乳はとても厳粛な雰囲気で、周りのお母さん赤ちゃん達、そして胸に抱く我が子を見て何とも言えない幸せな気分で満たされました。一生のうちのわずかな母乳育児期間の記念になりました。

（平石沙織　日瑚3ヶ月）

そして7月30日！

自然育児友の会で母乳育児支援に関わる活動をしていながら、この一斉授乳イベントに向けての動きをまったく知りませんでした。たまたま、BSNの長谷川さんが参加しているメーリングリストで、立会人の協力者を募っているのを読んで初めて知ったのが7月30日の明け方。府中でも呼びかけている人がいるということで、代表の内田が担当の平石さんにmixi上で連絡。そして、その日会議のために私たちが集まっていた事務局に、平石さんが足を運んでくれ、その日のうちに3人で顔を合わせることができました。

そこからは、あっという間の10日間！自然育児友の会事務局を会場に開催を決め、会のHPやML、ブログ、mixi上で呼びかけました。立会人をお願いし、新聞等々にプレスリリースを入れました。平石さんとメールで連絡をとりながら、mixiコミュをチェック。開催直前に参加者が増え、事務局隣のカフェスローさんにも協力をお願いし、当日を迎えました。

当日は熱を出してしまった1名をのぞき、44名全員が参加し、同時授乳の時間を迎えました。それまでのぎやかさがウソのように静まりかえったひとときが、とても印象的でした。終わった後の交流会も、会場の狭さや人数の多さでゆっくりとはできませんでしたが、そこで知り合ったことがきっかけで仲間づくりができた人もいたことなど、集まれてよかったです。

当日の流れ 07.8.8

- 09:15 受付
- 荷物チェック
- 09:45 説明
- 09:55 授乳準備
- 10:00 一斉授乳開始
- 10:01 一斉授乳終了
- しばし授乳タイム続く…
- 10:30 記念撮影
- 10:40 署名・交流
- 参加者の自己紹介・おしゃべり続く…

おっぱいタイムの平和な静けさを世界中に…

実は、私自身もまだ第四子の授乳中ですが、進行をこなすことを考えて、息子は保育園に……でも、ママたちが赤ちゃんとひたすら向き合っておっぱいタイムを過ごしている風景に、私も幸せな気分でした。今回、全国で数が集まつたことでマスコミ等に流れ、「授乳」や「母乳」について関心を持ってもらうきっかけになった意義は大きかったでしょうし、また、mixiというツールがきっかけになり、札幌のママたちの呼びかけに、「授乳」という一点で共感した全国の一母親たちが次々と手をあげ広がっていったのはすごいの一言！

準備不足な点も多々ありました、協力いただいたみなさまのおかげで無事終えることができました。ありがとうございました。最後に、おっぱいタイムの平和な静けさが、世界中どこでも味わえることを祈って、今後も活動していきたいと思います。（自然育児友の会 伊藤恵美子）

...○○○°°°°*○○○...*

参加者の感想

◇ 1歳になりましたおっぱいをあげていいべきかやめるべきか迷つてるとこの同時授乳の話を聞き一生のうち今しかない素晴らしい記念になると思い、少し遠いが参加してみました。大人数でみんなでおっぱいをあげられるこの嬉しさを体験できてとてもよかったです。

～啓太ママ 1歳1ヶ月～

◇おっぱいをあげるとき、それは赤ちゃんとの「つながり」を一番感じる時です。おっぱいをくわえたまま、じっと私を見上げる瞳。愛らしくて、愛情がじっとこみ上げてきます。きっと、一斉授乳に集まつた人たちは、そのかけがえのない「つながり」の時間を記念にしたいと思っての方も多かったのではないかと思います。かくゆう私もその一人です。母乳は出産したら当然出るものだと思ってた私。でも実際はそんなことなくて、完全母乳になるまでずいぶん苦労しました。苦労した分、母乳で育てていける喜びを感じています。今回このイベントに参加できて、本当に良かったです。

～御子柴博子～

◇それまで、泣き声でざわざわしていた会場が10:00になった瞬間しーんと静まりかえつた。

『神聖な1分間』そんな風に感じました。子供が無防備におっぱいを飲んでいる時、飲み終わつて笑顔を見せてくれる時、育児の疲れや寝不足なんて全て飛んでいってしまうんですよね。来年も卒乳していなければ参加したいなあと思います。主催していただいた皆さんありがとうございました。

～ことはママ～

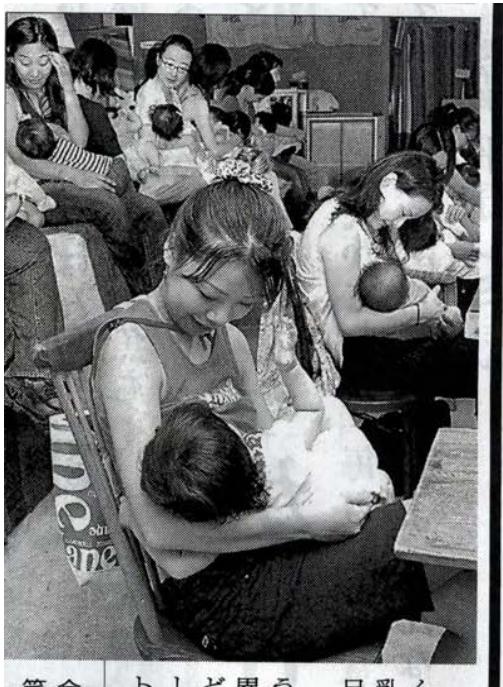


このようなイベントをきっかけに、お母さん達が母乳のよさを再確認し、そのことをアピールしていいからいいですね。（洋）

※YOMIURI ONLINEより掲載記事転載

◇カウントダウンではじまったおっぱいタイム。にぎやかだった会場に、ゆったりとした空気が流れ、わたしはぐるりと会場を見渡しながら、そこに居合わせた母子、世界中で参加している母子みんなへの不思議な愛しさと、娘の重さとぬくもりの大切さをひしひしと感じ、心からのしあわせをかみしめたのでした。娘ももうすぐ1歳半、「この辺りで断乳を」という保育園の方針に、でもじゃあ自分たちはどうしたいのかがよくわからず、「おわり」を漠然と意識しながら日々が過ぎ……。そんなときにこのイベントは、わたしたち母子の一生の思い出にふさわしいと、即参加を決めたのです。ふり返れば、わたしと娘の母乳生活は、かなり恵まれたものでした。出産前に周囲から自然な母乳育児のよさを知らされ、近所の産院は母乳育児支援が上手で、家族の理解もあり……。産後、母仲間の経験を見聞きするなかで、こうしたことが当たり前ではない現実を思い知りました。おかしな情報や周囲の態度、環境が、母子をふりまわし、母乳育児

※朝日新聞(都多摩版)07.8.9朝刊より転載



母乳育児に取り組んでいるお母さんたちが集まり、みんなで一緒に授乳をするユニークな取り組みが8日、都内各地で開かれた。

母乳育児の大切さをアピールしようというイベント。マレーシアの世界母乳育児行動連盟(WABA)などが世界一斉授乳を提案し、インターネットなどで呼びかけた。サポート役の「母乳育児支援ネットワー

会場ではお母さんたちの温かな笑顔が広がった=府中市内で

世界一斉、みんなで授乳

都内でも母子200組参加

ク」によると、国内では札幌や名古屋、大阪など全国25カ所で1千組余が参加。都内でも府中市や杉並区、世田谷区などに会場が設けられ、約200組が集まった。

府中市ではNPO法人「自然育児友の会」(内田淳子代表理事)が事務所を開放し、同市や調布市などのお母さんたちがみんなで授乳。府中市内のお母さん(23)は「子供が1歳を過ぎ、そろそろ離乳の時期。授乳の思い出を作りたかった」と話した。

に限らず、育児のいろいろな場面にストレスを生じさせることも多い、世の中。結局、わたしと娘のおっぱいライフの「おわり」についてはまだ結論が出ず、相変わらずの日々ですが、どんな母子も（と父と皆）が、がんばりすぎずとも、穏やかに当たり前に日々を見つめ過ごすことのできる世の中をつくっていきたい、今回のイベントは、そのための力を蓄える機会でもあったように思います。参加できたことに、感謝です。どうもありがとうございました！

～さち（娘：虹、1歳4ヶ月）～

◇1歳8ヶ月の甥と8ヶ月の娘、姉、私の4名で参加させて頂きました。姉妹双方母乳育児中というミラクルで貴重な時に、この様な企画に参加でき大変良い思い出となりました。ありがとうございました。

~sakie~

◇離乳が早いことがいいことだと思ってたけど、今回一齊授乳に参加して考えが変わりました。離乳食を始めたばかりですが焦らすのんびり進めていこうと思います。

～佑太のママ～

◇次男5ヶ月で一斉授乳に参加、イベント企画の経緯などは正直よく知らなかつたけれど、「ギネスに挑戦！」ということで気軽に参加してみました。同じ場所、同じ時間、一緒に授乳をするために集まつたママ＆ベビーが、この会場だけでもこれだけの人数がいるのかと思うと驚きました。さて、本番。慌ただしく始まつた一斉授乳ですが、授乳が始まると同時におとずれた静けさは、なんだか莊厳な感じさせました。この瞬間、世界中で同じ光景がくりひろげられていたのですね。イベント終了後の署名をしている際、なんと次男と同じ名前の女の子と出会えました！漢字は違うのですが、アルファベットにすると同じ。またママ同士の年齢、ベビー同士の誕生日も近いことが分かり、運命的な出会いを記念して一緒に写真を撮つたのでした。実はその後ほどなく、私の身体の都合で泣く



泣く授乳をストップ、ミルクのみの子育てとなってしまいました。長男は、始めは混合だったものの2歳5ヶ月まで母乳のみでしたし、次男も本人の気が済むまで母乳を飲ませてあげるつもりだったので、本当に残念。それだけに、今回の一斉授乳参加はとても良い思い出となりました。後からイベントの経緯、世界での母乳育児の現状等を知りました。これから生まれてくるベビー＆ママが母乳育児しやすい世の中になるよう、今回のイベントが続していくといいですね。スタッフのみなさん、本当にありがとうございました。

～mono～

◇自然育児友の会の友人に誘われ、8月の一斉授乳イベントに飛び入りで参加させて頂きました。もうすぐ1歳になる娘を、今までおっぱいだけで育ててきましたが、普段、外出先で授乳している人に会う機会はなかなかなく、44組もの親子が同じ空間で一斉に授乳をするという、こんな素敵なものに参加できて、とても光栄に思います。今まで、自分が体調を崩して寝込んだときや、夜中1,2時間おきの授乳、おっぱいを噛まれて傷ができたりと、何度か授乳がしんどいと感じたこともありました。このイベントに参加して、最初の頃の新鮮な気持ちを思いだした気がします。最近、考えごとをしながらおっぱいをあげたり、何度も授乳しているうちに、授乳することに慣れて、鈍感になっていましたが、おっぱいをあげながら見つめ合ったり、おっぱいをくわえながら安心して眠る姿を見たとき、いとおしい気持ちでいっぱいになったことを思い出しました。おっぱいだけで日々成長していく娘を見ていると、おっぱいのすごさや大切さを実感します。娘から、自分の食事や生活、身の回りのことを見直すきっかけをもらった気がします。この気持ちを忘れずに、卒乳のときまで、残りのおっぱい期間を楽しんで過ごしていきたいと思います。

～東 奏子～

※読売新聞07.8.10朝刊
より転載



* みんなで飲もう

世界中で8日前10時（それぞれの現地時間）に一斉授乳のイベント。母乳育児の大切さを訴えようとNGOが呼びかけた。日本でも25か所で1000人余のお母さんが参加。飲ませた人の記録を取ってギネスブック認定を目指すが、ギネスとは…。大人になったらビール好き？（東京・府中市で=洋）*



……は、母乳育児を中心とした、自然な子育てを楽しむ家族の全国ネットワークです。1983年に東京の母親の小さなサークルとして誕生し、その後全国へ広がりました。2000年にはNPOとして認証を受け、2007年現在、全国海外に2500人の会員がいるネットワークになりました。会報発行（隔月）のほか、母乳育児講座「おっぱいクラス」・「お産のふりかえり」などの各種講座開催、毎月全国約70カ所で開かれている子育て中の母親の集い「お茶会」やHP掲示板・ML、年に一度の「お泊まりミーティング」等の会員の交流、アースデイやエコプロジェクト等への出展、「マザリングフェスタ」「季節のリトリート」などのイベントなどを通じて、自然な子育てを応援しています。mixiには「自然育児友の会お茶会コミュ」があります。

HP <http://www.shizen-ikuji.org/> Email info@shizen-ikuji.org

Tel : 042-361-8565 (月・水・金 10 ~ 16 時) Fax : 03-6368-6897 〒183-0051 東京都府中市栄町 1-20-17



一斉授乳 @ 東村山

@東村山では『世界中のママと分かち合う、おっぱいの幸せ』を合い言葉に、総勢 57 組の母子が授乳に参加し全員が 10:00~10:01 のギネス授乳に成功しました。

【東村山での開催にあたって・・・】

ミクシィでこのイベントがあることを知り、是非参加したい！と会場も決まらないまま、「@川越」でコミュニティを立ち上げたのが、7月12日。会場探しをするもなかなか見つからず、また予約は市内在住に限るという悪条件が重なり、川越での開催を諦めました（その後、引き継いでくださった方の元、無事川越でも開催されました）。

参加表明して下さった方と共に「@東村山」での開催を決め、会場予約をしたのが7月24日。実にイベント当日の2週間前・・・。どうなることかと不安でいっぱいの船出でしたが、すぐによく行動力のある、素敵なスタッフが集まり、イベント開催を無事迎えることができました。



【地区名】@東村山

【会場名】東京都東村山市中央公民館 第一・第二和室



【当日のプログラム】

- 9:15 参加者の受付開始
荷物チェック、集金、資料配付、着席
- 9:45 受付終了
注意事項等説明
- 9:55 授乳準備
- 10:00 授乳開始
- 10:01 授乳終了
ギネス登録用紙への署名
記念撮影、アンケート記入
- 10:30 助産師/看護師による質疑応答
ママ同士の交流タイム

【イベントの様子・参加者の声】



スタッフはおんぶでがんばりました！授乳時の注意事項を説明中

授乳しないスタッフがタイムキーパーを務めてくれました。電話で時報を確認





10時の様子(第一和室)

そして感動の一斉授乳！

騒がしかった会場がシーンとなり、一体感を感じた。
おっぱいの威力は凄い！

皆で一緒に授乳し、いつも以上に安らぎを感じることができた



10時の様子(第二和室)

これだけ沢山の赤ちゃんが一度に集まる機会が少ないので、良い刺激になった。鳥肌が立った！

おっぱいについてもう一度考
える良い機会になった

改めて母乳をあげる重要性を再
認識できた。息子が更に愛おし
く感じた



登録用紙に署名中

一体感があり、母乳育児を頑張
るママさん達と交流できて良
かった

初めて会った方ばかりなのに、
時間と共に一体感が生まれた



参加証明書を配りました

授乳時期の限られた期間で貴重な
体験ができた

一斉授乳という、普段なかなか体
験できないことを沢山のママさん
とすることができた、子育て中の
良い想い出になった

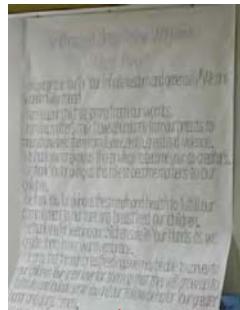
【スタッフ感想】

準備段階から参加できたので久々にいい緊張感に包まれ、睡眠不足になるもその日が近づくにつれ気持も高まっていきました。当日は娘をおんぶし準備。1歳のお誕生日直前の娘は久々のおんぶでしたがぐずることもなくいい子でした。いざその時になると、しっかり1分間（実際はそれ以上）飲んでくれました。それまでザワザワしていた会場全体が静まり返った時は鳥肌がたち、1分終わった時は感動の涙を抑えるのがやっと。今までの準備が報われた瞬間でした。その余 韻に浸る間もなく私は出発時間を遅らせた家族旅行へ…。慌ただしい1日でしたが、とっても思い出深いイベントでした。P.N. A.S.

イベント数日前から体調を崩した娘（2歳3ヶ月）。前日準備にも参加できず、悶々としながら、明日は良くなってくれよ～と祈るばかり。そんなハハの祈りも虚しく、スタッフへの申し訳ない気持ちで一杯になりながら当日は自宅授乳となった私たち親子。会場の様子が想像つかない中、コミュニティトピック（自宅で授乳）を見ながら臨戦態勢へ。寝起きもこの日はおっぱいを飲んでいたので飲み続けてくれるか焦りを感じつつも、10分以上も飲み続け、またスヤスヤと眠りについた娘。時間終了後はトピに報告が何件もあがり、同時に授乳したということを自宅にいながらも感じることができ、何とも言えない温かい気持ちになった。P.N. ゆ～ママ

「おっぱいでギネスに挑戦？何かの勧誘かしら？怪しそう～」一斉授乳イベントに対して抱いた、正直な第一印象だ。これに惑わされることなくスタッフの一員に加えてもらった自分の判断は間違っていなかったと、現在は満足の気持ちでいっぱいである。振り返れば、よもやイベントの2週間前に準備が始まったとは想像できない程の急スピードで作業は進んでいった。有能かつ熱意のあるスタッフと一緒に活動できて、本当に楽しかった。文化祭準備を思い出すなあと学生気分を味わいつつ、母ならではの授乳という行為を参加者と共有できたことはとても有意義であった。沢山の素敵なお友人ができたこと、日本においては初の試みであること、我が人生に無縁と思っていたギネス記録に挑戦できたこと、そして何より、あの1分間の静寂の時…。娘が大きくなったら是非話して聞かせてやりたいものである。P.N. ふくふく号

参加日当日、我が息子は3歳0ヶ月。もう3歳くらいになると、一斉授乳といういつもとちがう雰囲気の中、1分間おっぱいを飲み続けてくれるだろうか？と不安でしたが大丈夫でした。1分間、世界中がおっぱいでつながっているんだと思うと授乳を続けて良かったと心から思いました。また2歳以上で授乳中の方が他にもいらっしゃってとても嬉しかったです。もう自分の周囲にはいなかったものですから。（P.N. なおりん）



集合写真-1



スタッフの手書き“World Prayer”

【スタッフ感想～冊子掲載分～】

「おっぱいでギネスに挑戦してみない？」全てはそんな声掛けからだった。日本各地で賛同したママが有志で集まり、東村山でも開催しようという運びに。但し既に7月下旬。準備に2週間しかない。それからはまるで仕事の様な日々。連日深夜迄インターネットでスタッフママとやりとり。会場取り、HPの立上げ、ビラ配り、ギネス登録用証人の確保…。だから会場定員オーバーの60名超を集め、当日無事に1分間授乳できた時は感無量だった。それまで賑やかだった会場がシーンとなりおっぱいを飲む音だけになった時は、準備の苦労を思い、貴重な授乳時間をママ同士で共有する一体感と我が子への愛情で胸が熱くなった。また今回は母乳や育児について多くを学べ、地域社会やママ同士の交流のきっかけとなった。子育ては楽しく！と常々思っているが、そのよい思い出の一つとなった。P.N. izumi (生活クラブ冊子掲載分)

会場には定員を大幅に上回る母子が集合。最初は寒いぐらいだった冷房がまったく効かなくなり、まさに蒸し風呂状態。スタッフは子供をおんぶして母子共に汗だくになりながら会場設置や受付などをこなしました。暑さのため、そして空腹のためか(?) 同時授乳の10時直前は会場に赤子の鳴き声が響き渡っていたのですが、10時の時報とともに室内がシーン…そのときは本当に感動。なんとも幸せな1分間でした。今回とても嬉しかったのは、おっぱいママ以外でお手伝いに来てくださった方が本当に多かったこと。受付やタイムキーパー、保育係などとして奮闘してくださいました。彼女たちがいなかったら、イベントの成功はありませんでした。また快く立会人を引き受けてくださった4名の方にも感謝の気持ちでいっぱいです。そして何より一緒にスタッフとしてイベント準備に燃えたママたちとの出会いは大変貴重なものとなりました。来年も開催したい！

P.N. Chako (助産院もりあね「もりあねっこ通信」掲載分)

【Special Thanks】

立会人の4名の皆様

山川昌子様
大塚恵美子様
遠藤みどり様
瀬川祐子様

ありがとうございました！



【@東村山 ホームページ】 <http://milky.geocities.jp/oopaipai2007/>



世界中のママと分かち合う
あっぱいの幸せ♪ in ナゴヤ
—世界同時授乳に挑戦—

2007. 8. 8. 於・つながれっと NAGOYA

イベント当日・ドキドキの一日をレポ！

広いナゴヤの中央に位置する「つながれっと NAGOYA（男女平等参画推進センター）」のきれいな多目的ルームで開催。小さいお子ちゃんを連れての朝早くからのイベントに、35組の母子が参加してくれました。キャンセルが心配なところでしたが、ふたを開けてみれば出席率はほぼ100%！会場はママとお子ちゃんたちの熱気でむんむん。

9時から有志で会場設営を始め、9時15分から受付開始。9時40分頃からみんなで輪になり、同時授乳のための注意事項や国際基準の説明などをしました。授乳前に意外と時間がなくなってしまい、ちょっとバタバタ焦りつつ。

さあ、10時5分前。授乳のスタンバイのため、ママたちはお子ちゃんをガッシリ？抱えて、戦闘態勢OK！お子ちゃんたちはと言えば、おっぱいが目の前にあるのにお預けをくらい、「わー！！」

「ぎゃー！！」と大騒ぎ。が、10時ちょうどに授乳が始まると、それまでの喧騒が嘘のように、場内しいん…と静まり返り、母子が微笑ましく見つめ合いつつ授乳開始。穏やかな空気の流れる1分間はあっという間に終了。無事に全員の授乳が確認されました（残念ながら、あと一歩で授乳タイムに間に合わなかった方もいらっしゃいましたが…）。

その後、立会人のお一人である管理栄養士・伊藤日奈子さんの「食のミニ講座」と参加者同士の座談会へ。1分間の授乳＆サインでそれまでの緊張が解けたのか、ちょっとまたたりをしてしまいましたが、母子の高揚感・達成感が漂う中、和やかな雰囲気でお開きとなりました。帰りがけ、ママたちの笑顔がキラキラしていたのが印象的でした。

皆さん、本当にお疲れ様でした♪♪♪（なお、本イベントの模様が、当日の中日新聞夕刊社会面に大きく掲載され、改めて社会的意義を感じさせられました）

参加者一覧（50音順・敬称略）

浅井 智子	伊藤 幸子	稻本 亜希子	井上 郁
岩田 弥生	織本 志珠	梶野 瑞衣	加藤 笑子
蒲野 Ruth	河上 ゆかり	河野 瞳	北川 かえ
鬼頭 まゆみ	木村 美保	久保 聖子	近藤 美恵
杉本 千枝	田中 真衣	田中 ゆき子	中村 理加
野上 聖子	早川 陽子	肥海 ちづる	東 美穂
彦坂 聖子	福富 英里子	松田 栄美	道下 実生
本宮 朋子	森川 聖子	森山 未花	安島 あい
山下 知子	山本 智美	吉田 由子	



立会人（50音順・敬称略）

伊藤日奈子（管理栄養士） 小林和子（男女平等参画推進センター職員）

一斉授乳の瞬間には鳥肌がたつほど感動しました。福富さんはじめ、皆さんの行動力、企画力も素晴らしいですね。私も微力ながら、子供たちが笑顔いっぱいで過ごせるように、食を通して活動していきたいと思っています。素敵な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

参加者の声 (ニックネームで記載・順不同・Mixi 内コミュニティの感想トピックより抜粋の上掲載)

♪ひまわりぱんやさん♪

ムスメが何事もなく会場に着くことが目標でしたが、1分間きちんと飲んでくれたし、皆さんと一緒に貴重な時間を過ごすことができ、嬉しく思います。有難うございました！

♪さ♪さん♪

一斉授乳のとき、みんなの愛のオーラが伝わってきました。我が息子がおっぱいを吸ってる時も幸せな気分になりました。おっぱい星人にして良かった！

♪先われスプーンさん♪

みなさま、お疲れ様でした。とても楽しい思い出ができました。

♪うしゃぎさん♪

本当に楽しいひとときでした。卒乳のタイミングを息子に任せて、これからもおっぱいの時間を大切にしていこうと思います。

♪かりん。さん♪

同時授乳の瞬間は、タンデム授乳のため上の子と下の子とかかえるのに精一杯で、あんまりおだやか…とはいかなかった私ですが、この貴重な時間に二人の子におっぱいをあげられることにとても幸せを感じました。今までおっぱいをサポートしてくれた周りのいろんな人たちや頑張ってくれた子供達に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

♪ユウ☆さん♪

本当にお疲れ様でした。中日新聞夕刊の「みんなで元気に育って」って見出し、いい言葉でちょっとジーン。参加された赤ちゃんが、みんなみんな元気で育ちますように！

♪さらさん♪

ほんとに素敵なお授乳が出来て幸せでした☆あの一斉授乳の瞬間…忘れられない素晴らしい思い出をありがとうございました☆

♪やましたさん♪

感動的ですばらしいひと時を味わえました。本当にありがとうございました。私は混合栄養なんで

すが、まだまだ諦めずになるべく長く母乳を続けて行こうと思いました！

♪えみさん♪

とっても素敵な1分間でしたね～。ふたりの我が子をとっても愛おしく思いながらタンデム授乳できました。長男の断乳を考えていましたが、イベントに参加して授乳できる幸せを感じてしまい「やっぱり自然卒乳できるまでタンデムで！！」と思い直しちゃいました。幸せそうな息子の顔見てたら断乳より卒乳って思いました。

♪ビーグルさん♪

一斉授乳が始まった時の静けさ、そして自然ともれるママ達の「ウフフ」という空気の中で、最近忘れがちだった「生まれてきてくれてありがとう。毎日パイ飲んでくれてありがとう。」という気持ちが溢れ、泣きそうでした（っていうか泣いてました）。小さい人達にとって、パイを飲むことは生きることなんだなあとしみじみ思いました。

♪もりこさん♪

母乳の素晴らしい。そして、安心して母乳を与えられる環境にいることの幸せ…。いつもの風景が違って見え、娘や息子のぐずぐず泣き声さえ、いとおしく感じる事ができました。同時授乳の1分間。私はとっても短く感じました。現役でおっぱい中の息子（4ヶ月）はともかく、すでに卒乳している2歳の娘も、穏やかな顔をしていたのが印象的でした。おっぱいの輪がつながったのを、実感しました。この感動をいつまでも。

♪もとみやんさん♪

ボランティアで参加した母＆姉も貴重な体験ができたと喜んでおりました、ありがとうございました！最近おっぱいへの執着がなくなってきたようなうちの娘。今回皆さんと一緒に授乳をして、「ああ！やっぱりおっぱいずっとあげてみたい！」とまた一段と気持ちを強くしてしまいました。

♪とも☆MITさん♪

あんなに感動するとは思いませんでした。私は最初おっぱいが思うように出なくて挫折しそうになり、ようやく軌道に乗っておっぱいをあげる楽しみがわかつてきたばかりです。今回で益々おっぱい育児を楽しめ、あの時あきらめなくてよかった！という気持ちがムクムクわいています。

♪なおつきーさん♪

本当に感動しました！こんなに素晴らしい日になるなんて！一斉に飲み始めて必死で吸い付いている姿を見て、みんなおっぱいが大好きで、大事な大事な命の源ってわかってるんだろうなと感じました。おっぱいだけでここまで大きくなってくれたことに感謝していますし、もっともっとおっぱいの力をみんなが知ってくれたらなあと思います。改めて授乳という幸せな時間をかみ締めることができました！いつか離れていってしまうからこそ、息子とのラブラブな時間をすごしたいです。

♪ぽるたさん♪

母乳のいい点である授乳中のふれあいの時間、これが二人目ともなると上の子にあれこれ邪魔をさ

れ、ゆったりとあげられないのが現実です。そんな中で下の息子が中心になる授乳のイベントに参加でき、本当にいい記念になりました！授乳時間は短いものでしたがワイワイしていた空気が一瞬にしてシンと静まり返った瞬間。鮮明に記憶に残っています。ありがとうございました！

♪えむりんさん♪

産後4ヶ月に生理が再開し、授乳間隔も短くなつて「母乳の出が悪くなつた？」と感じていました。うちの子は早産で小さく産まれていますが、今まで健診でも「小さいなりによい成長」と言われ完母で大丈夫と思ってやってきました。でも、このまま母乳の出が悪くなればミルクを足そうと思っていたのですが、少し前から哺乳瓶＆ミルク拒否がはじまり、ミルクを飲ますのも一苦労しそうでした。しかし、一斉授乳に参加して直母の喜びを感じたせいか、その日の夜からすごく胸が張り、おっぱいが出るようになります。娘が久々におっぱいでむせて吐いちゃうくらいでした。母乳の出には精神的なものが大きく作用すると言いますが、一斉授乳の感動がいい方向に作用してくれたようです。私は産んでもすぐに娘と引き離され別々の病院に入院となつたために、産後すぐの授乳はあげられなかつたし、直接吸わせることが出来たのは産後12日目でした。手搾りで搾乳して冷凍して娘に届けていたけど娘の飲む量に私の母乳が追い付かず、枯れかけて母乳外来に行つたりもしました。そんなことを思い出し、今母乳を娘にあげられる喜びをあらためて感じることが出来たこのイベントに本当に感謝しています。このまま母乳を保つて行けたらいいなーと思います。

世界同時授乳のイベントを企画して　—当日を振り返りつつ—

ナゴヤ呼掛人・福富英里子（まろん）

あの夢のような瞬間から早や数ヶ月。そもそも、この地に越して間もない私が、無謀にもナゴヤの呼掛人を買って出たのは、自分が毎日何気なくやっている「授乳」を通して、世界とつながっている実感が持てるという、このイベントのダイナミックな魅力に惹かれたからだ。最初は気軽な気持ちで立候補したのだが、細かな事務処理が次々に出てきて、正直、イベント直前はかなりヘこんでいた。こんな時に限つて我が家はネットは不通、ご近所のマイミクさんのパソコンを借り歩く毎日。昼夜問わず作業をするハハに不信感を持ったムスメが、情緒不安定になるのも無理はなかつた。

そしてイベント当日。つつがなく会が進行し、無事に同時授乳が成功すると、ここ数週間の緊張の糸がツツリと切れ、イベント後半はヘロヘロ、集合写真も撮り忘れる始末（ごめんなさい！）。でも、ママたちが達成感に満ち溢れ、キラキラしながら帰つてくれたのが、何よりうれしかつた。

家に帰ると、いつもと同じ平凡な風景が何だか違つて見え、ムスメが可愛いと改めて思えるように。日常生活をこなしながら最小限の準備しか出来なかつたが、大勢の方の善意によって作られたこのイベントが、育児生活の輝く思い出のひとつになつたら、主催者としてこの上なく嬉しい。

とかく育児を中心とした生活は、ハハの孤独感がつきもの。でも、今回のイベントで感じたのだ。ハハは決して孤独ではない、と。周りに、いや世界に、ハハのおっぱいに顔をうずめている幸せなコドモの姿が確かに見えた。おっぱいの幸せが生命を脈々と繋いでいく。その神秘の一端をみんなで確認できたこと。それが今後、私の子育ての支えのひとつになつてくれる気がしている。

最後に…。私が準備に追われても、黙つて見守つてくれたオットのイッペイに、感謝を。携帯ばっかりいじつてはいるハハの姿にすっかり情緒不安定になつたムスメのスマレに、愛を！



「世界中のママと分かち合う、おっぱいの幸せ」

②春日井近郊会場（柏原公民館）

愛知県・岐阜県から参加した34組の母子と過ごした幸せな一分間

立会人 助産師・村岡 扶佐子さん 助産師・米田 恒子さん

◆当日の流れ◆

- ・ 9:00～9:30 受付
- ・ 9:30 ギネス申請への説明など
- ・ 9:55 輪になって授乳準備
- ・ 9:59 立会人からカウントダウンスタート
- ・ 10:00～10:01 一斉授乳
- ・ サイン記入
- ・ みんなで記念写真（中日新聞くらしのニュースから取材）
- ・ 自己紹介
- ・ 立会人・助産師さんからのお話
- ・ 雑談
- ・ 11:30 片づけ、清掃

こんな感激はなかなかなかったです。ざわついた会場で、掛け声と共にいっせいに授乳。育児で悩んだ事も多いと思います。でも、みんなの授乳する姿は、堂々としていました。この姿を胸に焼き付け、これからも育児する母たちを、応援していきたいです。

立会人 助産師 村岡 扶佐子

今回は、記録係として参加させて頂きました。私は、母乳の出が悪く新生児時期から混合で、6ヶ月からは完全ミルクで育てました。本来、参加資格のない私が記録係として一斉授乳の場にいれたことは、嬉しさと同時に感動でした。

記録係 井上 恒子さん (1歳4ヶ月)

《参加者からの感想》

2007年8月8日ちょうど生後2ヶ月になる息子と参加させてもらいました。猛暑の中会場までベビーカーで歩くこと20分程、今思うと生まれて最初の長距離散歩でした。いろんな不安を抱えての参加でしたが、あの場所・あの瞬間に立ち会え本当によかったと思いました。一生の記念になりました。

白石 可奈さん 穂ちゃん (2ヶ月)

授乳できる幸せを、みんなで分かち合えて、よい思い出になりました。貴重な体験ができて、参加して本当によかったです。

久田 和美さん　世良羽ちゃん（1ヶ月）

子供におっぱいを与えてあげられる時間はとても早く過ぎて行ってしまうような気がしていつかは離れて行ってしまうことを考えると寂しい気持ちもありましたが、こうしてひとつ形に残せたことを嬉しく思います。良い思い出になりました。

三宅 真紀子さん　秀虎ちゃん（1歳7ヶ月）

一斉授乳に参加させていただきとても嬉しく思っています。ギネスに挑戦なんて一生経験できない事に参加できて良かったです。それに、母と子の絆を深めることができたと思っています。上の子は出産時の事情で母乳で育てることができなく、下の子を出産したとき母乳育児が不安でした。何とか母乳で育てていましたが、何となく不安な気持ちが心の片隅にありました。そんな時に一斉授乳の話を聞き、参加し沢山の母乳育児の方とお話しして不安がなくなりました。とても貴重な経験させていただけたことに感謝しています。

成尾 裕美さん　優輝ちゃん（9ヶ月）

同じ月齢のベビちゃんママが次々と卒乳していく中で、参加した一斉授乳、たくさん勇気をもらいました！1歳2ヶ月になろうとしている今も母乳育児頑張っています！

高橋 夕香さん　蓮人ちゃん（11ヶ月）

本当に素敵な記念になりました。息子は、離乳食も三回であまりおっぱいに興味が無くなってきてはいましたが、小さなお口で一生懸命おっぱいを飲んでくれる姿は私に元気をくれます。参加できて、本当によかったです。

森 ひろいさん　勇登ちゃん（11ヶ月）

今しか出来ないこと、貴重な体験ができて嬉しかったです！

詩恩ちゃん（6ヶ月）のお母さん

同じ時間にたくさんの人人が一斉に授乳しているという神聖な雰囲気の中、世界で同じ時間を過ごせたという思い出。普段の生活ではまずない経験をでき本当によかったです。後日、TVで海外の一斉授乳についてやっていたのですが補足で日本でも約*人で行われた…と言っていて自分がそのうちの1人だと思うとうれしかったです。

陽人ちゃん（1ヶ月）のお母さん

母乳をあげる楽しみを再認識できた楽しいひとときでした。

堀田 実千枝さん　凪人ちゃん（9ヶ月）

沢山のママ達で一斉授乳、感動しました。なかなか出来ない経験をさせて頂き母子ともに記念になりました。またこのことが少しでも母乳育児の促進に役立てばと思います。

小澤 悠加さん　羽琉ちゃん（5ヶ月）

初めての子育て、母乳育児で大変だった時期もありましたが、一斉授乳のイベントに参加し、円を描き沢山の母と子が母乳を通じて繋がっている時間を過ごせたのはとても感動的でした。母乳育児を諦めずに続けられて良かったです。

可児 真美さん 珠月ちゃん（10ヶ月）

とっても貴重な体験ができました。普段は自宅などでは一人で授乳ですが、こんなにたくさんのママさんと同じ空間でということは初めてで、不思議な感じでした。授乳と同時に会場が静かになって赤ちゃん達が一生懸命おっぱいを飲んでいる姿は神秘的でさえあったようにおもいます。気軽な気持ちで参加した挑戦でしたが、母乳育児についていろいろ考えさせられたし勉強になりました。

田中 香奈さん 心望ちゃん（1ヶ月）

今回はこんなに素敵なおイベントに参加出来た事、本当に感謝です。実は何年か前にニュースでフィリピンの方で一斉授乳のニュースを見た事があり、（日本では、こんなイベントないんだろうなあー）って思っていました。その光景を目にした時、素直に綺麗だなー神秘的だなーって思いました。だからほんのわずかなニュースだったのに覚えていたんです。そしてミクシィを通じて、友達が出来て仲良くしてもらい、まさかこのイベントに参加できるとは本当に思いませんでした！！当日、1分間輪になり全員で授乳。室内の空気がすごく神秘的で軟らかい時間でした。鳥肌が立った事、なぜか涙目になった私。幸せだなーって思いました。母乳って会話がまだ出来ない子供と会話やお互いの心のコミュニケーションが取れる素敵なお時間って本当に実感しました。私は上の子の時もそうでしたが母乳中、子供と目を合わせてその時に飲みながら笑いかけてくれるその笑顔が本当に幸せを感じます。だからゆっくり断乳します。

稲垣 麻美さん 翔英ちゃん（5ヶ月）

今回、縁あってこのイベントに参加させていただいて改めて母乳育児の素晴らしさを実感しました。産後2.3ヶ月はなかなか母乳の出が安定せず、ミルクとの混合だったのですが諦めずにマッサージに通ったり、母乳に良いとされる物を食べたりして完全母乳になりました。このイベントに参加して、豊かではない国のお母さんたち、母乳マッサージや産後の肥立ちに良い食事をまともに摂れないお母さんたちのことが以前よりも気になります。すべての国のすべての子供が共に健やかに育つていけたらこんなに素晴らしいことはないと思います。

榎本 真琴さん 陽芽ちゃん（7ヶ月）

息子がおっぱいを飲んでいた証になるし、他の皆さんと同時に授乳をするというのが面白いなと思ったし、何といっても、ギネスに載るかもしれないというので、世界一斉授乳のイベントに参加しました。9時59分になり、一斉授乳がスタート。一斉授乳の時間が終わるまで気をそらさず吸っていてくれるか不安でしたが、なんとか続けて飲んでくれました。参加した皆さんと一緒に同時に授乳をするというのも不思議な感じで、とてもとても楽しかったです。出産後、母乳の量が出ないときでも、乳首が痛くても、それに耐えながら吸わせた甲斐あって、母乳だけで育てることができました。もうすぐ一歳ですが、まだまだおっぱいを吸い続けています。「母乳がいい」という知識だけで、母乳だけで育ててきましたが、このイベントに参加して、「どうして母乳がいいのか」とか世界の母乳事情などもわかり、ますます母乳育児を続けたいという意欲が湧きました。このまま自

然卒乳できる日まで、母乳育児を続けていきます。最後に、主宰してくださった方々の働きかけが
あって、こんな素敵なおイベントに参加できました。みなさんありがとうございました。

矢野 真代さん 聰一ちゃん（9ヶ月）

～イベントを主催して～

授乳時期を長い人生で考えると、ほんの一瞬。「娘との思い出になれたらしいな！」軽い気持ちから始まりました。Mixiを利用して呼びかけると、興味を持ってくれた方がいたので春日井市での開催を決め、会場はすぐに決まり人数も集まり始めて、安心していましたが…日が近づくに連れ参加基準の項目が増え、やらなくてはならない事が予想以上！当日を迎えるまで徹夜と不安な日々。家族にも負担をかけていて、どうしたらいいか？悩む事もありました。でも、前日に記念になればと母子手帳に貼るシールを主人は作成してくれ、ドキドキしながら当日を迎えました。開場してからは予定通りに進み…みんなで輪になり、ざわついていた会場はかけ声とともに一斉に授乳が始まると静まり、10時からの一分間！神秘的な空間、母と子の繋がりを感じられる時間、感動しました。当日まで大変なこともありましたが、この時間をみんなで過ごせたことを幸せに感じ、主催して良かったと思います。今回のイベントを通じて、世界の母乳育児について考えさせられ助産師さんの話からも色々と学びました。初めての育児に悩み不安になったこともあるけれど、今後も自然卒乳を目指し、10月に2歳になった娘とまだまだおっぱいライフを楽しみたいと思っています。

イベントを呼びかけてくれた方々、立会人をしてくれた助産師さん、手伝ってくれた友人、参加してくれた34組のみなさん、協力してくれた家族のおかげで、イベントを成功することが出来ました。ありがとうございました。

この一緒に過ごした時間を忘れず…大切な記念にしましょう！頑張りましょう！！

春日井会場主催 内田 朋代 花菜（1歳10ヶ月）

↓参加した記念に母子手帳に貼るシールを作成！

～世界中のママとわかちあう、おっぱいの幸せ～





2007. 8. 8. 一斉授乳@京都

ご参加くださいましたみなさま、2007年8月8日、すばらしい時間を共有いただいて、本当にありがとうございました。京都会場を主催させていただいたmawataです。

今回は記念誌に参加させていただくことができ、とても嬉しく思っています。

1. 当日のプログラム

京都市山科区 アスニー山科にて

9時	開場 受付にて荷物チェック・名簿に記名
9時45分	主催者自己紹介・取り組みについて説明・立会人ご紹介
9時55分	スタンバイ
10時	一斉授乳開始・写真撮影
10時1分	一斉授乳終了
10時10分	名簿に一斉授乳確認サイン記入・参加費精算・希望者に記念シール配布
10時30分	スリング講習会
11時30分	片付け・撤収開始
12時	終了

2. ご参加いただいた方からの声

- ・ 素晴らしい時間をありがとうございました。とってもとっても幸せな気持ちになりました。育児ってすばらしい。母乳ってすばらしい。
- ・ また、スリング講習会も、とてもよかったです。本当にありがとうございました。
- ・ ありがとうございました。皆さんと貴重な時間をご一緒できてとても楽しかったです！また皆様とご縁がありますように！
- ・ 今日は楽しい時間をありがとうございました。とてもいい記念になりました。
- ・ 本日はありがとうございました。楽しい時間を過ごせてよかったです。
- ・ よい記念になりました。また、機会がございましたらよろしくお願ひします。
- ・ 本当日は楽しかったです。ありがとうございました。
- ・ 女に生まれて、母親になれて本当に幸せだと思うことができました。
- ・ また何か皆で楽しめるイベントがあったらぜひひ参加したいと思います。
- ・ 今日はありがとうございました。とてもステキな時間をみなさんと一緒に過ごす

ことができて嬉しいです。母乳が軌道にのるまでいろいろありましたが、諦めずに続けてほんと良かったです。

- ・今日はすごくすごく貴重な体験をさせて頂いてホントにありがとうございました！ みんなで一齊に授乳しているとき、すごく不思議な気持ちと母乳ってすごいなーと感動しました。嘔まれて痛くて痛くて仕方なかったときやめなくて良かったデス。ありがとうございました。
- ・時間が経つほど今日のこと、素敵なひとときだったなーと思います。思い切って参加して良かった。では、まだまだ続く育児ですが楽しく頑張りましょう。
- ・今日は、本当に素晴らしい機会をえてください、ありがとうございました！ 忙しい毎日の中で忘れがちな、子育ての喜びや幸せを再認識することができました。またこのようなイベントがあれば、是非参加したいです。
- ・昨日は本当にたのしい時間をありがとうございました。
スリング講習会もとても良かったです。あのあと、思わず生地を買ってしまいました。こんな有意義な機会を作ってくださったスタッフの皆様ありがとうございました。
- ・きのうはありがとうございました。思い切って参加してよかったです。
あの人数がみんな授乳してる光景は忘れません。
スリング講習会もとても役立ちました。思いつきで作ったスリング、眠っていましたが、作り方までアドバイスいただいたので、コレを気にもうひとつ作ってみようと思います。またみなさんとお会いできるといいな。
- ・昨日は素敵な時間ありがとうございました。みんなで一齊に我が子におっぱいをあげる…こんな素晴らしい体験が出来て、本当に嬉しく思います。
スリング講習会も、私にとって目からウロコなことばかりでとっても良かったです。スリングの中でスヤスヤ眠る息子はとっても幸せそうでした。今日からまた、育児頑張れそうです。本当にありがとうございました。
- ・昨日は本当に素敵な時間を作ってくださいありがとうございました。
あんなに堂々と外で授乳をしたのは初めてで、改めておっぱいをあげられる喜びを感じました。そして一緒に同じ時期に育児をがんばってるママさんたちがたくさんいること、とても心強く思います。まだまだ始まったばかりですが、子育て一緒に楽しみましょうね。スリングは全く興味なかったのに、初めてスリングに入った娘は突然おとなしく眠りにつきかけたので、これは！って感じです。早速作ってみようと思っています。
- ・昨日はお世話になりました！ こんな素敵なおイベントに参加できて幸せです。帰省してて良かった。嫁ぎ先では今回のイベントが無くて、ママ友に話すと「いいなあー」と言われました。私はラッキーでした！ 今後もっと全国に広がるといいですね！
- ・みんなで一齊に授乳なんてめったにないこのイベント！ 友達に自慢してしまいました。スリング講習会もとっても楽しかった。さっそく眠ってるミシンを出してきて、布買ってきて作ってみようと思います。
- ・みなさんと授乳したあの1分間素敵な時間だったなあと私もしみじみ思います。

こうしておっぱいあげられることってほんと長い人生今しかできない貴重な時間だなあと思うとじーんとしてしまいました。

楽しい時間をどうもありがとうございました。また、みなさんにお会いできる日を楽しみに、これからもずっと続く育児がんばりましょうね！

3. 主催者から

「楽しそう！京都で誰もやらないんだったら、やってみよう」

そんな軽い気持ちで、とりあえず会場を予約することから始めた一斉授乳。告知のチラシを作るために、ぐずる娘を片手で抱いておっぱいをくわえさせながら、パソコンに向かっていました。

個人での主催なので、当日ギネス申請に必要な人数が集まるのか、不安もありました。また、直前に娘が手術を受け、直接おっぱいを飲むことができなくなりました。一斉授乳の主催者なのに、搾乳して、哺乳瓶で飲ませる毎日。いつ飲めるようになるのか、もしかしたら飲めないままかもしれない…。精神的につらくなり、主催したことを後悔したこともあります。一時は、一斉授乳への参加をあきらめようと思いましたが、娘はがんばってくれました。また飲めるようになってくれました。

この経験が、私の授乳への気持ちを変えてくれました。「おっぱい飲ませてあげてた」んじゃなく「飲んでもらってた」んだ！搾乳も、哺乳瓶の消毒も、こんなに大変だったんだ！混合やミルクで育てているママも、母乳で育てるママも、わが子を愛する気持ちも育児の大変さも、変わらない。今こうして母乳で育てられる幸せを、強く強く感じました。

一斉授乳の瞬間は、たくさんのママと赤ちゃんが来てくれたことがとても嬉しくて、そして無事に自分と娘が参加できたことが、感慨深かったです。それまで、大声で呼びかけても聞こえないほど充満していた赤ちゃんの泣き声がピタッと止んだあの1分間。忘れません。赤ちゃんを連れて、暑い中会場に来てくださったみなさん、ありがとうございました。

最後になりましたが、スリング講習会をしてくださった先生と、立会人を引き受けてくださったお二人、本当にありがとうございました。

そして、当日会場の外で「見張り」をしてくれたわが相方と、母におっぱいの素晴らしさを教えてくれた娘に、ありがとう。

これからも、母乳育児の輪が広がっていくように、心から願っています。各地の主催者のみなさん、支援してくださったみなさん、そして参加者のみなさん、ありがとうございました。



一斉授乳を楽しもう@大阪市

【地区名】大阪市

【会場名】大阪市立中央青年センター

【当日のプログラム】9:45 ~ 説明（「母乳育児成功のための10カ条」「国際規準」「グローバルウェーブ」などについて）

10:00 ~ 一斉授乳***神秘的な1分間***

署名・記念撮影

10:15 ~ 12:00

* 助産師さんからの母乳育児についてのお話&質問コーナー

* 参加者（看護師さん）からのタバコについてのお話

* 《スリング》 プチ講習会

～ランチタイム～

13:00 ~

* ベビーマッサージ

一斉授乳参加者人数・・・56組のママ&ベイビィ

(内54組がギネス申請用紙yes欄へサイン)

☆*° 。 。 *☆*° 。 。 *☆*° 。 。 *☆*° 。 。 *☆*° 。 。 *☆*° 。 。 *☆*° 。 。 *☆*° 。 。 *☆

【参加者の感想】

「感激です。たくさんのお母さんが赤ちゃんを育てていて‘お母さんってすごい’と思いました」

「もっと長いかと思ったけど、あっという間でした」

「すごい人数にビックリしましたが、来て楽しかったです」

「参加できて本当に嬉しいです！母乳育児の記念になりました」

「こういう機会はなかなかないので、とても貴重な体験をさせて頂けてよかったです」

「授乳が始まったと同時に静まり返った会場がとても神秘的な感じで、感動しました」

「なかなか面白い光景でした」

「チビちゃんから大きい子までみんなでチュッチュと幸せそうな顔が見られて私も幸せでした」

「世界中で授乳しているって素晴らしい！一分間って短い・・・」

「この場に来ないと味わえない感動でした。HAPPYな空気に包まれていましたねえ」

「この大切な親子の時期に多くのママ&ベビと時間を共有できて嬉しいです」

「みんなで1つになれた気がします」

【アンケート回答より】

◎ 初めて授乳したときの気持ちは？◎

- とても感動しました。まだ開ききらない目を一生懸命開けて、おっぱい探して・・・
- 出産したという実感がわきました
- なんて強い力なんだ！本能ってすごいのね
- ちゃんと出るか不安でした
- 出産後すぐおっぱいを吸ってくれて、こそばゆいようなフワフワした気持ちになった
- おっぱいがすぐ出て不思議でした
- 未熟児ちゃんで、出産後子どもは保育器に直行、最初はスポイドで搾乳したおっぱいをあげていました。保育器を出て初めて直母した時はもう大泣きしちゃいました
- 誰も教えてないのに自分で乳首を探して上手に舌を使って吸い付く姿に感動・母になったことを実感しました
- 涙が止まりませんでした。恥ずかしいのと照れくさいのと嬉しいのと…すごい感動でした
- がんばって育てていこうと思いました
- 帝王切開で二日後だったので、「やっとあげれたー」というのと、なんとも言えない愛しさを感じました
- 生まれてきてくれて、ありがとう

◎ 母乳育児で困ったことは？◎

- 小さめで生まれたのでミルク混合で、ミルク足す程‘悪循環’になっているようで…
- 最初は出ない・吸いつき方が下手と大変でした。病院も「とにかく吸わせて」としか教えてくれず不満でした
- 買い物などお出かけ先での『授乳室』設置が少ない
- 歯でかまれること
- 授乳間隔があかず、夜間1~2h起きに起きるのが辛い。
- おっぱいをあげてる間、家事ができない…
- 出がよすぎて少し絞っても必ずむせる
- 初めは全然飲めなくて、桶谷式等に通ったり本当に苦労しました。周り（親 etc.）の言いたい放題なアドバイスにも振り回されて、泣きました

◎ 母乳育児で気をついていること◎

-食事-

野菜中心の食事を心掛けている・動物性食品を一切摂らず油分を控える・ご馳走や甘いもの、スナック菓子などを避けている

-お酒・コーヒー等-

お酒好きだけどできるだけ禁酒！・カフェインを控える・ストレスをためないように

-その他-

何でもおっぱいでごまかさない・子どもの目をみること/子どもの表情をよく見て授乳・テレビを消す・水分摂取

【こぼれ話】

2007年8月8日のイベント当日までの約3週間、「目標25組の参加者」を掲げて前準備に追われていました。途中、「立会人が最低二人は必要」という問題にぶち当たり頭をもたげていた私に明るい光が…！！ちょうど今回参加することになった私の第二子出産院で、毎月行われている育児サークルがあり、その日、助産師さんにイベント内容・趣旨・立会人が必要な旨をお話したところ、なんと！！「ウチから何人か行こうか？」と仰っていただきました。産婦人科の師長さんも快くGoサインを出してくださいました。

そして当日。現在二児の母であり現役の助産師さんと育休中の助産師さん（ともに母乳育児中）とが立会人として会場に来てくださいました。

この場をお借りしてあらためてお礼を言いたいです。済生会中津病院産婦人科の師長さん・助産師の皆さん、日頃から母乳育児を推進してくださっていること、そして今回のこのイベントに好意的にご協力くださったこと、心から感謝しています。ありがとうございました。

会場には目標をはるかに超えた56組の参加者が同じ目的のために集まっていました。

一組の方は朝の車の渋滞に巻き込まれ、10:00スタートの一斉授乳には間に合わず残念でしたが、午前中のプログラムに参加。車で送ってくださったご主人様は会場内には入っていただけなかつたので外で待っていてくださったとか。お優しい…

もう一組の方。こちらは順調に一斉授乳～！と思いや、8月末で2歳になる息子さん。自分より小さい子ばかりが授乳しているのを見て「僕はお兄ちゃん！」と思ったようで授乳できず…会場では「おっぱい要らない！」と連呼していた息子さん、おうちに帰つてからしっかりたっぷり飲んでいたそうです。成長のときなんですね。

なんとも微笑ましい…

至らない部分は多々ありましたが、参加者スタッフの方々のご協力もあり、皆さん気持ちが一つになって、とても、とても感慨深い、重みのあるイベントとなりました。

日本での第一回同時授乳に関わった全ての皆様、本当にありがとうございました。

【主催者プロフィール】

古田妙子；結婚して5年目、4歳の長女・0歳の長男の母。

7/17、普段開かなかったmixiをたまたま開き、母乳育児関連コミュニティを検索していた際にこの『一斉授乳』についての本家コミュに出逢う。

当初、自宅近辺に開催地がまだなかったため、「8/8 当日は家でひっそり一斉授乳に参加しよう」と思っていた。が、どんどん各地から「コミュ立ち上げました！」の声が…。それなら私も立ち上げてみる？！と【一斉授乳を楽しもう@大阪市】を立ち上げてしまった。

そして…こんなにも素敵な感動の時を、同じ母乳育児中のママさんたちとシェアすることができたのでした！！感謝です（涙）



《第一回記念 世界同時授乳 in JAPAN》 一斉授乳を楽しもう@大阪市

(↑写真左下に半分だけ写ってる男の子、【こぼれ話】に出てきた
もうすぐ2歳になるお兄ちゃんです。)

★.*.*..*★ ☆ *Special Thanks* ☆.*.*..*★

最後になりましたが、今回、日本での一斉授乳イベントに対し多大な労力と時間を費やし、熱意とともに私たちを応援してくださった『母乳育児支援ネットワーク』のM. H先生に心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました！

そして、集まった皆さん！！

ステキなこの時間を共有できたことを大切な思い出として心に残してください。



一斉授乳を楽しもう@尼崎

一斉授乳を楽しもう@尼崎 主催者ききの準備や当日の様子と感想

このイベントを知って、母乳育児を楽しんでいる一人として、何か出来ないかと思い、残りひと月無いけど立ち上がることにしました。「準備はばちばちしたらしい」と思っていましたが公式ホームページを見て一転、焦りました。

英語が訳せない。わからない。適当な判断ではギネスに参加できないかも・・・

焦ったのもつかの間、母乳育児支援ネットワークさんが今回のイベント訳ページを立ち上げてくださり、大きなバックアップとなっていました。ここからはギネスの内容が手に取るようにわかり私の中にもイメージがドンドンと膨らんでいきました。その頃で参加者希望が15組程度。まだまだ頑張って集めたいところ。

参加者さん達の頑張りもあり、当日には総勢40組の親子が授乳に来てくれました。



当日プログラム	受付を外に用意したので並んでいただいたママたちは朝9時半前後にもかかわらず暑かったです。でもスタッフやみなさんのおかげで40組全員がカウントダウン前に集まって授乳チャレンジしていただけました。
09:00 準備	こんなに沢山のママが同時に授乳することがとても新鮮で楽しかったです。
09:15 受付 順次入室	同時授乳の前に説明をして、5分前から一分毎のカウントダウン。その間に「もうすぐギネスにチャレンジだよ～」等と声をかけ、ほしがるようならあげながらその時を待ちました。
09:40 挨拶・説明	私が「おっぱい」を連呼しながら説明をするのでほしがるお子さん続出でした。
09:55 授乳準備	30秒前のカウントダウンをはじめるとママ達の雰囲気がグッと引き締まり、10秒前からは自然とママ達の口から数字が聞こえてきて一体感が生まれました。
09:59 体勢を整える	10:00 ジャスト。のカウントに一瞬の静けさ、思わず私がカウントアップを始めてしまいましたが「60」というその声に歓声と拍手が生まれ不思議な体験となりました。その後授乳を終えたママから(赤ちゃんが飲みたいだけ飲ませてあげてから)順に規定用紙にサインとギネスチャレンジが成功したか?のチェック。
10:00 授乳チャレンジ	全員がサインを終え、二人の立会人が確認・サイン、監視員が最終チェックをしたのを拝見すると…33組のママがギネスチャレンジに成功していました。
順次参加者のサイン	なかなかお子さんとのやり取りに苦労されている方もいましたが、それも母乳育児中のひとつのいい思い出として残していただけたらと思います。
10:30 立会人のサイン	記念撮影は、えらく賑やかな撮影会でした。(ごめんね、赤ちゃんたち)その後アンケートへの記入願い、お茶菓子を振舞ってイベントは終了となりました。
記念撮影	イベント後は団欒タイム。折角アンケートに母乳育児のことをいろいろ書いていただいたのでピックアップしながら進めました。みなさんのご意見が伺えて私も楽しい時間となりました。最後に聞いたみなさんの感想がとても嬉しかったです。今日まで頑張って準備をしてきた甲斐がありました。
10:45 あいさつ アンケート記入依頼	立会人として来てくださった助産師さんが個別相談も引き受けてくださり参加者の方の育児の疑問や不安も少なくなったことだと思います。
11:00 団欒(自由参加)	ギネスに載るかはまだわかりませんが、まずは申請。日本各地で25箇所1083組(8/8A.M. 5:00過ぎ時点)のママが一斉に授乳したことは忘れないでいたいと思います。参加してくださったみなさま・スタッフのみなさまのおかげで今日のこの日が迎えられましたこと、心より感謝しています。ありがとうございました。
12:00 解散 12:00~片付け	



←受付の風景

主催者の説明風景→



fujicoさんの感想

お疲れ様でした～

用事があったのでお先に失礼してしまいましたが、とても楽しくそして貴重な体験をさせていただき、感謝感激です♪♪♪

たぶん来年は授乳での参加はきっと無理？！でしようが、また何らかの形で参加できたら良いなあとと思いました。ほんの少しあしかない授乳期間の良い思い出になりました。本当にありがとうございました。



のりちゃんさんの感想

今日は参加させていただき、ありがとうございました！

10時からの一分間、長かったです。動画で残そうとしていたのですが、おっぱいだけでの瞬間にもう少し集中すればよかったなあと、ちょっと残念…（しかも動画取れてなくて超ショック！）

でも、一斉授乳の始まる直前に、ちびちゃんたちが「おっぱいちょ～だい～！」と大合唱になっていたのが印象的でした。改めて、子どもにとってお母さんは特別なんだなあとしみじみ思いました。

貴重な体験をさせていただき、本当にありがとうございました。

準備や当日お世話していただいたスタッフの方々にも感謝いたします。

境井さんの感想

授乳イベントの開催を偶然知り、当時4ヶ月の息子を連れて参加しました。会場へ着くと予想以上にママさんとベビちゃんがいてビックリしました。

いよいよカウントダウンが始まり、もうドキドキ。1分間寝てしまわないことだけを祈っておっぱいを吸わせました。ギネスに挑戦するなんてなかなか出来ないことなので本当にいい機会だったと思います。そして母乳で育てられる幸せを改めて感じました。主催して下さった北さんや、その他のスタッフの方々に感謝します。ありがとうございました！もし次回挑戦する機会があればぜひ参加したいです。それまで母乳続けていられるといいな！



せさんの感想

授乳中の友達がいても、このようなイベントがあることを知ることが出来るのは滅多にないことだと思う。ましてや参加するなんて。今回はスタッフとしての参加で、しかも当日しか参加できなくて申し訳なかったです。カメラで写真を撮りながら見ていると、お母さんの顔もお子さんの顔もみんな笑顔で幸せそうで、見ている私も自然と笑顔になってました(*^o^*)。このイベントに参加することができてよかったです。また機会があればぜひ参加したいです。いつかは挑戦者としても（笑）

★キ chan★さんの感想



長男の時は最初の努力がたりず、1回も乳首を吸ってもらえることなくミルクに……回りにはなんでミルクなん???とよく聞かれました……で、次男は絶対に母乳にするゾ!と妊娠中から意気込んでました☆

そして、今回、一斉授乳に参加することが出来ました!5分前からのカウントダウント!息子とがんばろーねなんて話しながら、ドキドキ。2分くらい前になって、おっぱい飲ませました。

10時…今まで賑やかだった会場がシーン……となったのがすごく印象的でした。40組で母乳あげてるんだあヤッパリ母乳ってイナあと。1分間どころか、その後も5分くらい飲んでた息子。

一生懸命おっぱいに食い付く顔はものすごくかわいい(*^▽^*)

いろんなトラブルがあって、ミルクの方が楽やったなあ…と考えてしまう時もあるけど、これからも今しか、しかもマしか体験出来ない『授乳』を次男が飲みたいっていってくれる限り、飲ませたいなあと感じたイベントでした♪井さんははじめ、スタッフの皆さん、本当にありがとうございました!

ぽーやんさんの感想

10時15分ぐらい前から主催者の説明が始まると、それまで機嫌よく遊んでいた息子も「おっぱい」の言葉にたまらず、おっぱいのサインをしながら服を覗き込んで、10時のカウントダウンを待ちきれずに授乳開始。

10時からの一分間、おっぱいから口を離したりしてしまうとアウトだったんだけど、この日最初のおっぱいだった息子は問答無用でクリア。40組の親子が一斉に授乳する雰囲気はなんか不思議で、でもほっこりした空間でした。

1歳になるまでは、どちらかというとこっちが「おっぱいをあげる」という感覚だったのが、最近は自分の意思でおっぱいをほしがるようになってきてる。しかも1歳を過ぎた頃からおっぱいへの執着が強くなってきてるような…。

でも幸せそうにおっぱいを飲んでいる顔を見ると、ほっとします。授乳が辛い時期もありましたが、まだまだ飲んでもらいたいなと思います。

私も息子もおっぱいの卒業は先になりそうだけど、それまでこのおっぱいの時間をゆっくり充分に楽しもうと思えたイベントでした。スタッフのみなさん、おつかれさまでした!



かおりんさんの感想

5分前からのカウントダウン、息子は待ちきれずに5分前から『いただきます』とオッパイに吸い付いてしつかり10時5分頃までゴクゴクやってました。やったあ＼(^o^)／チャレンジ成功。それにしても、40組が一斉に授乳するなんでもちろんはじめての事!!なんだかとても不思議な感じでした。

今までショッピングセンター等の授乳室で一緒に授乳したことは何度かありますがせいぜい2~3組。ホント、貴重な体験をさせてもらいました。日本全国では何組がチャレンジ成功したんたろお!?結果が出るのが楽しみ!!

チャレンジの後は参加のママさん達と団欒タイム!

主催者さんのお話によると、2才からの母乳には新たな免疫があるんだって初乳に免疫効果があるのは知ってたけど、これはもう誰になんと言われようがまだまだ断乳はしないわよおなんて一人意気込んでます。もちろん息子がもおいらなあいってなったら無理に飲ませることはないんだけど…ぜひ飲んで欲しいなあと思ってしまった。

ホントにホントに貴重な良い体験をさせていただきました。

ききさん、スタッフの皆さん、全国の一斉授乳仲間(!?笑)のみなさんありがとうございました。来年も是非参加させてくださいね





北九州でギネスに挑戦!?
世界母乳育児週間にみんなで一斉授乳を楽しもう!
* * * おっぱいはママの愛の味 * * *

in 城野市民センター 第3集会室

福岡県北九州市小倉南区で開催された@北九州の一斉授乳。市内中心地から少し離れていますが、朝早くからたくさんの方が駆けつけてくださいました。

* * * * * * * * * **当日のプログラム** * * * * * * * * *

*	9:15～ 9:30	受付	*
*	9:30～ 9:45	参加者自己紹介	*
*	9:45～ 9:55	注意事項の説明	*
*	9:55～10:00	一斉授乳の用意	*
*	10:00～10:01	一斉授乳	*
*	10:01～10:15	署名	*
*	10:15～11:00	交流会	*
*	11:00	解散	*

* *

【参加者・立会人】

参加者…27名（主催者・スタッフの5名含む）

立会人…2名（市民センターの方、保育士）

【当日の裏話】

会場は市民センターの1階にある集会室（会議室）。当日会場設営してみると意外と狭く、集会室内に受付台などを設置できずに、会場設営が計画通りにいきませんでした。受付台は廊下に1台のみになってしまい、会場入口は集まった参加者でいっぱいになり、受付もスムーズにいく訳もなく…イベントを開始したのが遅れに遅れて9時50分でした。ちなみに受付が終わった方から授乳シーン撮影OK・NGに分かれて着席してもらいイベント開始まで待ってもらったのですが、その間報道陣による取材タイムになっていました。

カーテンで閉め切った30人用の集会室には、27組の親子に2名の立会人、そして報道陣が10名程。暑くて騒々しい中、一斉授乳時の注意点や主催者・立会人の紹介だけで10時の瞬間を迎えてしまいました。それまでは大声張り上げても赤ちゃんたちの声でかき消されていた、進行係の主催者の声。その位、たくさんの赤ちゃんの声が響いていました。それが10時のカウントダウンが始まると徐々に静かになり、10時になった瞬間、ピーんと緊張感が張り詰めるような静けさに。周りにたくさん的人がいるにも関わらずおっぱいに夢中の赤ちゃんがほとんどで、神々しい雰囲気に包まれた1分間でした。

1分経ち、立会人による全員の署名簿チェックが終わった瞬間、会場内にはどこからともなく大きな拍手が沸きました。その拍手から「感動」「達成感」が感じられました。

立会人の下、参加者による署名が始まりました。でもまだ授乳されている親子が多数ありました。そのまま眠ってしまった赤ちゃん、楽しそうにお話しながら授乳している母親。自宅とか授乳室とか、他人の目を気にせず授乳している様子でした。一斉授乳の結果はというと、27名全員の授乳を立会人によって確認されました。

全員の署名が終わり、下に掲載している集合写真を撮り、解散しました。(写真を見てください。みなさん、とてもいい笑顔をしていると思いませんか?)

解散後、時間のある方には残ってもらい、交流会を開きました。進行を主催者からスタッフにバトンタッチして…。

スタッフが進行した交流会の話題は「出産した病院・産院は『母乳育児成功のための10カ条』をどれだけ満たしているか」でした。次に交流会の進行をスタッフから主催者が引き継ぎ、「北九州市内の公共施設の授乳室・オムツ替えシート」についての意見の交換を行いました。北九州は育児に力を入れている街ですが…次から次へと不便な点・不満な点が挙がりました。

一通り意見が挙がったところで、交流会を終了しました。交流会前に帰られた方には受付時に配布していたアンケートの提出の呼び掛けを忘れていたんですが、交流会に参加された方にはアンケートの記入をしてもらい、記念品のシールをお渡ししました。そして最後に残った方が片付けの手伝いをしてくださいり、片付けはとても早く終わりました。ありがとうございました。



* 参加者 & 立会人での記念写真 *

【参加者感想】

- 皆で一斉授乳、想像していたよりスゴかったですね！またそれが全国・全世界だと思うと、本当にこの大イベントに参加できてよかったです！！なんか、全世界の母乳育児ママ達と一緒になれた感じ！
- 今日は本当にいい経験させていただきました。母乳育児って本当にすばらしい事なんだと再認識すること

ができました。これからも、完母で子供を育てていきたいと思います。

- ・今回ギネスのことがなかったとしても（もし申請できなかつたとしても）みなさんといっしょに授乳タイムをすごせたことは一生の記念になりました！まだまだおっぱいを飲ませようと決意できました。次回こういう機会がありましたらぜひ今度はスタッフとしてお手伝いもさせていただきたいと思います。
- ・母乳って、大変なこともたくさんあったけど、今まで頑張ってきて良かったな～って、しみじみ思いました。母乳の素晴らしさを再確認できたイベントでした！私もまた次回も参加したいです。
- ・初めは気軽にギネスに載るんなら～ぐらいの気持ちだったんですけど、スタッフの皆さんのお意気込みとか見て、自分がこのイベントに参加出来たことがすごく誇らしかったです。いい思い出になりました。
- ・母乳が出る幸せを実感しながら授乳しました。
- ・授乳しながら周りを見渡して、こんなにたくさんの人たちの絆に感動しました。

【スタッフ感想】（スタッフ4名も一斉授乳に参加しました）

- ・皆で一斉に授乳することなんてこれから先ないだろうし、何より授乳出来る喜びを再確認出来て本当に素敵な日でした。
- ・たまたまミクシィやってて、たまたま一斉授乳のイベントを知って、たまたま母乳をあげていたという、とても素敵な偶然に感激しています。今回、みなさんと母乳育児の素晴らしさを分かち合えた気がしています。またこういう素敵なかつ然に巡りあえたら、ぜひ参加したいです。
- ・盛大なイベントになって、同じく母乳育児をしているママさんたちと、貴重な時間を分かち合えて、すごくステキな経験になりました。
- ・一斉授乳の1分間はあつという間で、正直、頭真っ白でした。（迫ってくるマスコミのカメラにも緊張しましたー）家に帰って、改めて皆で一斉に授乳できしたこと、それが日本はもちろん世界中のたくさんの場所で行われたこと・・・とかを考えると感動して涙出てきました。すごく素敵なかつ間でしたね。母乳育児を考えるいい機会になりました。そして、交流会でみなさんに教えてもらった情報も、とってもタメになる情報ばかりでした。本当にありがとうございました。また是非、こういう機会があつたら参加したいです。

【参加予定で当日欠席された方】

- ・残念ながら私は参加できなかつたのですか、お昼のニュースでイベントの模様を拝見しました。たくさんの方々が参加されてたようで、大成功だったですね！

【メディア報道・掲載】

- ・TV局…TNC・FBS・KBC
 - ・新聞…読売新聞（8月15日付）
 - ・ラジオ…fm fukuoka のホームページ
 - ・城野市民センター館報10月号
- （残念ながら、某新聞社1社には掲載されませんでした）

【主催者裏話】

偶然mixiというサイトで一斉授乳のイベントを知り「北九州でもやってみたい♪」と正直軽い気持ちで、@北九州の開催を決めました。私ひとりで開催を決めたので、25組以上参加者が集まるとは思ってもなく、「10組集まつたらいいな～」という願望を込めて空室の中で1番広い部屋だ

った30人用の会議室を予約し、mixi内で参加者を募りました。参加者の中でスタッフも募集すると快く5人が手を挙げてくださいました（内1名は当日欠席となり、スタッフは4名となりました）。これはとても心強く「もしかしたら25組以上集まるかも!?」という期待を持てるきっかけとなりました。

私とスタッフは各自スーパー・保育園・小児科などにチラシの掲示をお願いして回りました。中にはチラシをコピーして別の市民センターで手配りしてくれたスタッフも。時間の許す限りで、行動範囲内でいいから、とチラシ配りをお願いしていたのに、スタッフ全員あちこちに足を運んでくれ、同時に参加希望者も増えていき「これは頑張らないと！」と私は気合を入れ直しました。

8月に入ると、一気に忙しくなりました。立会人を探したり、国際基準など理解しなければならない事項が増えたり、名簿や冊子の作成に追われたり…。もっとスタッフと連携を取れたらよかったです。お会いしたことない方がほとんどで…個人情報を預かることもあり、主催者として責任持って私がやることにしました。またマスコミへのアプローチも10社行いました。

イベント前々日の6日には、初めてスタッフミーティングを行いました。話し合いながら当日の役割分担を決めたり、確認事項を再確認したり…なんと3時間ほど掛かりましたが、イベント前にスタッフで交流できて良かったです。

6日の夜からは本当に大変で…特に冊子などの配布物の作成が大変でした。7月下旬から冊子を作っていたのですが、国際基準など追加するページがどんどん増えていき、12ページもの冊子となりました。ちなみに冊子が完成したのはイベント当日の朝5時でした(汗)。

当日、スタッフと会場設営をしていると次から次に参加者やマスコミの方が増え、受付はなかなか終わらなくて受付終了の9時30分を過ぎ…予定していた段取りを省くことになったので、結構焦っていました。私も授乳のために席に着くまでは。

でも10時を迎える参加者全員で授乳しているのを見て、なんだかほっとしました。授乳が終わり拍手が鳴り響くと、うるっときて泣きそうでした。

スタッフが交流会の進行をしていた間、私は何をしていたかというと、TV局3社、新聞社2社からの取材を受けていました。いわゆる囲み取材です。ニュースを見た方はお分かりだと思いますが、心臓音が聞こえるんじゃないかと思う位緊張してしまい、かなり早口になってしまいました。放送されたのはほんの一部分ですが、私なりに母乳育児の素晴らしさ、このイベントを開催した経緯などを話しました。

イベント後、参加者の方から「参加して良かった」という声をたくさん聞き、このイベントを開催して良かったと心から思いました。主催者として至らない点が多々あったと思いますが、参加者のみなさん、スタッフ、立会人の方々、市民センターの方々、当日スタッフ補佐をしてくれた妹、記念品のシールを作ってくれた主人…などたくさんの方の協力を得てイベントを実行・成功することができました。本当にありがとうございました。

【主催者プロフィール】

25歳の専業主婦。2006年6月に母乳育児推進の病院で長男を出産。今まで完母で育てており、自然卒乳を目指し奮闘中。



ギネスに挑戦！世界同時授乳 in 熊本

会場：熊本市国際交流会館（5階大広間 A・40畳）

プログラム

1. 受け付け（名簿に登録）
2. 主催者より趣旨説明
3. 10時の時報と同時に一斉授乳
4. 名簿チェック、解散

参加者の感想

同時授乳の日はちょうど子どもの1歳の誕生日だったので、記念になるかと思い参加しました。参加して見るとかなり母乳育児のお母さん方が多いことにびっくりしたと同時に、励みにもなりました。合図と同時に授乳が始まったんですが、あの時のシーンとして子どもたちが一生懸命お母さんのおっぱいを飲む姿は感動的でした。これから、母乳育児への理解が深まり、増えることを祈っています。

（ゆうママ）

ギネスに挑戦でき、わたしにとっても娘にもよい記念になったと思います。

これを機に、世界中に母乳育児がもっと広がればいいと思います。（ふうごま）

授乳開始になったとたんざわざわしていた会場が静まりかえったのには感動しました。ギネスに挑戦することはなかなかないことなので貴重な体験をさせていただき子供とのいい思い出ができました。（おがちん）

初めは「ギネス記録に挑戦するなんておもしろそう」という気持ちで参加しましたが、参加してみてとても感動的なものでした。授乳を始める前はおっぱいがほしくて泣いていましたが、時間まではがまんさせようと思い、あやすのが大変でした。スタートの一分前には会場が赤ちゃんの泣き声でごかつたのですが、授乳スタートと同時に「シーン」と静まり返り、授乳の一分間は子どもの一生懸命飲む姿を見ながら、とても幸せな気持ちになりました。

（はるかママ）

熊本会場のおっぱいっ子たち

10:00時の合図と同時に
いっせいにおっぱいを飲み始める
子どもたち。
会場は一瞬静寂につつまれ
さっきまでの泣き声の
大合唱がうそのよう。



開始時間直前まで寝ていて
あせったけど、やっと飲み始め
お母さんもホッとした表情！
「今回参加できてとても楽しかった。一人でも多くの
人に母乳育児の楽しさを
知ってもらえたなら！」



熊本市内はもとより、周辺の都市からもこのイベントに集まった
おっぱい母さんと子どもの数はなんと 58 組！
大広間は文字通り「足の踏み場がない」状態になり、大きなテレビカメラを
かついだ TV 局のカメラマンさんがなかなか歩きまわれずに苦労していました。
すごく暑い日だったんですが皆さん時間どおりに集合してくださって、
無事全員授乳に成功！！
主催者、立会人、スタッフの方々、そして 58 組のママと
赤ちゃん、お疲れさま！
(スタッフ・ムサシ)

主催者プロフィール

浦崎 貞子

職業：助産師。熊本市にて「うらさき母乳育児相談室・助産院」を開業して19年目。桶谷式乳房管理法認定者。IBCLC。

母乳で育てるお母さんの相談相手をしています。「母乳で育てたい」とのぞむお母さんたちの話を聞くにつけ、この人たちは弱い立場にあり、被害を受けているのだなあと感じます。「母乳代用品のマーケティングに関する国際規準」についても、もっともっと広めたいと以前から思っていたので、今回のイベントに取り組むことにしました。

当日までの流れ

8月3日（金）：一斉授乳イベント開催決定。

名称“ギネスに挑戦！世界同時授乳 in 熊本”。

国際交流会館大広間を予約。ボランティアスタッフもつくる。

8月6日（月）：電話で参加呼びかけ。助産院の来院者にも呼びかけ。

市内の母乳育児サークル（熊本市立産院“だっこ”ゆのはら産婦人科医院“ハグサークル”）に参加呼びかけ。熊本の桶谷式乳房管理法認定者にも呼びかけ。

8月7日（火）：立会人は、老人保健施設「おとなの学校」あべ医師・熊本市議会議員・

益田牧子氏、熊本日日新聞記者・峰松清子氏にお願いする。

参加者の交通手段も確認。

8月8日（水）：総勢58組がぞくぞくと集まる。

取材：熊本日日新聞、TKUテレビ熊本

受付名簿に登録。

主催者より趣旨説明。

スタッフで手分けしてバッグの中を確認。（哺乳瓶、乳首など）

10:00一斉授乳開始。

授乳が終わったら、名簿にチェックして帰ってもらう。11:00頃解散。

当日夕方、『TKUスーパーニュースぴゅあピュア』にて紹介される。

8月9日（木）：熊本日日新聞朝刊に写真入り記事掲載。

ボランティアスタッフの感想

月齢的には「ギネス挑戦の一員」になれるはずだったのですが、間の悪いことに、イベントの案内をいただいた数日前に息子は1歳3ヶ月で母乳を「卒業」したところでした。しかしどうしても参加したくてスタッフに加えていただきました。

当日は、受付や写真撮影のお手伝いをしました。予想を超える参加者で足の踏み場もないほどの会場は、母子が今か今かと授乳を待っている間は騒然としましたが、授乳が始まるとやいなや驚くほどに静まり返り、とても清らかで穏やかな空間となりました。このような平和な営みが、世界各地で授乳のウェーブを作りながら行われているのだと考えると、本当に素晴らしいイベントだとあらためて感じました。

今回は準備期間が大変短かったにもかかわらず、多くの参加者が集まり、とくに大きな問題もなく無事に終えることができました。次回は、今回の参加者の方々にも協力していただいて、さらに大きな母乳育児の輪を広げていけたらと思います。(とっしー)

(B F Hをとっている病院で出産したお母さんたちのグループ活動をやっています)

まさか?58組もあつまるなんて予想外でした。

10:00 の時報がもっと大きい音で知らせられるような装置（カウントダウンイベントなどで使われているような…）があるといいなと思ったんですが、どこかでレンタルできるんでしょうか?

会場（40畳）は広いと思ったけどせまくなっちゃいましたね。でも今回の会場は場所がわかりやすくてよかったです。行ったことのない人でも、説明すればすぐわかる場所でしたから。

(ムサシ)

一斉授乳がスタートした途端、静寂が訪れました。授乳中の母子の姿は荘厳な絵画のようでした。会場は満杯状態でした。来年、同じ企画を実施するしたら、もっと広いスペースが必要だろうな…と思いながら、母子像に見とれていました。

(ゆっこちゃん)

一斉授乳はまさに圧巻でしあわせな光景でした。終了後のチェックの仕方がもう少しスマーズにいかないものかとの反省が残りました。

(トトロ)

以上、熊本会場からのご報告でした！（編集・写真はムサシが担当しました）